

2025年度

知識情報・図書館学類 開設授業科目シラバス

筑波大学 情報学群
知識情報・図書館学類

シラバス更新情報

ここでは、「2025年度 知識情報・図書館学類 開設授業科目シラバス」について、冊子版からの更新情報を随時記録しています。

更新済みの最新版シラバスは <http://klis.tsukuba.ac.jp/assets/files/syllabus.pdf> に掲載しています。

<2025年 5月23日>

- ・「情報サービス構成論」の曜日時限を変更しました。
「情報サービス構成論」(専門科目・3, 4年次; 大庭一郎先生)
秋 AB 金 3, 4 限 → 秋 AB 金 1, 2 限
- ・「テキスト解釈-3」「日本図書と文字メディア」を新設しました。
「テキスト解釈-3」(専門基礎科目・2年次; 秋 AB 木 5, 6 限; 松永瑠成先生)
「日本図書と文字メディア」(専門科目・3, 4年次; 秋 AB 火 3, 4 限; 松永瑠成先生)
- ・「メディアアート」の担当教員を追加しました。
「メディアアート」(専門科目・3, 4年次; 春 C 火・金 3, 4 限)
落合 陽一 → 落合 陽一, Li Jingjing

目 次

時間割	2
学年暦	4
クラスタ別開設授業科目一覧	5

解説

履修のてびき	27
科目選択ガイド	37
卒業研究のてびき	42

資料

情報学群履修細則	47
教職課程（教科に関する専門的事項）	61
大学において修得すべき図書館に関する科目	66
大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目	67
大学が単位を与える学修一覧	67
テクニカルコミュニケーター専門課程に対応した開設科目一覧	68

索引

教員名索引	73
-------------	----

2025年度 知識情報・図書館学類 時間割

(2025年2月22日現在)

凡例：*卒業要件上の必修科目，†司書資格に関する必修科目，[]今年度開講せず，〈>教職に関する科目

1年次

1限 8:40～9:55, 2限 10:10～11:25, 3限 12:15～13:30, 4限 13:45～15:00, 5限 15:15～16:30, 6限 16:45～18:00

	月						火						水						木						金					
	春			秋			春			秋			春			秋			春			秋			春			秋		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
1						知識情報概論	知識情報概論*					〈教職論Ⅰ〉			〈教職論Ⅱ〉			体育*						初修外国語Ⅱ						
2															知能と情報科学							ファーストイヤーセミナー*		〈学校経営概説〉		英語Ⅱ*				
3	情報リテラシー(演習)*	情報リテラシー(講義)*	〈現代教育と教育理念〉	データサイエンス*		〈こころの発達〉	英語Ⅰ*							アカデミックスキルズ*					図書館概論†				線形代数A		微分積分A					
4				初修外国語Ⅰ										知識情報システム概説																
5			〈教育史概論〉	〈教育の法と制度〉	〈学習の心理〉					システムと情報科学		学問への誘い*						情報数学A*	計算と情報科学	プログラミング入門A*	プログラミング入門B*	情報メディア入門	情報科学概論		コンテンツ入門					
6																														

知識情報概論は年二回開講，知識1年次は(春A火12)を履修すること。

灰色の網掛け は情報学群以外開設の専門導入科目 | 総合科目(学士基盤科目)を選択して履修

教職科目：現代教育と教育理念(春C月34)，教育史概論(春C月56)，教職論I/II(春AB水1/秋AB水1)，教育の法と制度(秋AB月6)，学校経営概説(秋AB木2)，こころの発達(秋C月34)，学習の心理(秋C月56)

教育社会概論(旧課程の教育基礎学IおよびIIIに対応)(集中)，日本国憲法(集中)

2年次

	月						火						水						木						金														
	春			秋			春			秋			春			秋			春			秋			春			秋											
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C									
1				自然言語 解析基礎			知識情報 演習Ⅰ-1*†		知識情報 演習Ⅱ-1*†		知識情報 演習Ⅲ-1*†		知識情報 演習Ⅰ-2*†		知識情報 演習Ⅱ-2*†		知識情報 演習Ⅲ-2*†						システム思考		知識 発見 基礎 論														
2																																	体育*						
3	知識資源 組織化論†		多変 量解 析		コンピュータ システムとネッ トワーク† 情報数学B		メディ ア社 会学		データベース 概説		哲学*		知識 発見 基礎 論		アカスキ*		専門英語A2*		質的調査法		多変 量解 析						量的調査法		メディ ア社 会学		英語・初修外国語2年次								
4															専門英語A1*		専門英語A2*														英語・初修外国語2年次								
5	生涯学習と 図書館†			情報社会と 法制度		機械 学習		アーカイブズ 基礎		ユーザ研究 実験法		情報 行動 論		統計*						情報探索論†							テキスト解釈-1 テキスト解釈-2 テキスト解釈-3		機械 学習		経営・組織論				知的財産 概論		情報 行動 論		
6																																							

「情報社会と法制度」は1年生の履修を認めます。

集中科目：知的探求の世界I(通年)，ビジネスシステムデザイン基礎I(春C集中)

教職科目は以下のように履修することを想定しています。下記以外のクラスも履修できます。

道徳教育I/II(春AB月6/秋AB月6，集中)，特別活動の理論と実践(秋C月56，秋C火45，集中)，総合的な学習の時間の指導法I/II(集中)

3・4年次

	月						火						水						木						金					
	春			秋			春			秋			春			秋			春			秋			春			秋		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
1	身体知			コレクションと アクセス†			情報評価 マルチメディ アシステム			[Machine Learning and Information Retrieval] 学校図書館メ ディアの構成			情報サービス 経営論†			ソーシャルメ ディア分析			Webプログラミ ング [メディア技術 と文化]			データ構造と アルゴリズム 数式処理 システム論 アーカイブズ 管理			情報検索 システム			[図書館文化 史論] 情報サービス 構成論		
2	マークアップ 言語																													
3				専門英語 C-3*		Huma n- compu ter Inter action	知識論 情報サービス システム		メディ ア アート	情報メディア の活用 日本図書と文 字メディア									Human Information Interaction デジタルライ ブラリ 学校図書館 論			デジタル ドキュメント メディア教育の 実践と評価		Huma n- compu ter Inter action	学術メディア 論 [データ表現と 処理] 情報法		メディ ア アート	博物館情報 学		
4	専門英語B*			専門英語 C-1,-2*			学術情報 基盤論						体験型システム・・・A		体験型システム・・・B ビジネスシス・・・実践Ⅱ															
5	主専攻実習 A*			主専攻実習 B*			テクニカル コミュニケー ション 情報デザイン とインタフェ ース			知識コミュニ ケーション [データベース 技術] 学習指導と学 校図書館			[コミュニティ 情報論]			図書館建築 論			生命情報学 ヒューマンイン タフェース アーカイブズ 資源			知識形成論 [知識資源の分 類と索引] 知的財産権論 A			読書と豊かな 人間性†			パブリック ガバナンス†		
6																							体験型システム・・・A		体験型システム・・・B ビジネスシス・・・実践Ⅱ					

月火水の 1・2 限に開講する科目(マークアップ言語を除く)と学術情報基盤論・データ構造とアルゴリズムは、各科目の受講上限を超過しない範囲で早期卒業を目指す2年生の履修を認めます。

金曜日の5・6限に開講する科目は、各科目の受講上限を超過しない範囲で「体験型システム開発A,B」を履修予定の2年生の履修を認めます。

集中科目：知的探求の世界II(春学期+秋A)、インターンシップ(夏季休業中)、ビジネスシステムデザイン基礎II(春C集中)

集中科目：PBL型図書館サービスプログラム開発(通年)

本年度開講せず：コミュニティ情報論、図書館文化史論、Machine Learning and Information Retrieval、メディア技術と文化、データ表現と処理、データベース技術、知識資源の分類と索引

教職科目は以下のように履修することを想定しています。下記以外のクラスも履修できます。

教育課程編成論(旧課程の教育内容・方法論Iに対応) (春AB水6, 秋AB水5, 集中)

教育の方法と技術(旧課程の教育内容・方法論IIに対応) (春AB木6, 春C金56, 集中)

特別支援教育(旧課程の障害児指導法に対応) (春AB火6, 秋AB金6)

生徒指導(旧課程の生徒指導・教育相談Iに対応) (集中)

教育相談の基礎(旧課程の生徒指導・教育相談IIに対応) (春AB火5, 春AB火6, 春C月56, 秋C火56, 集中)

教育相談の実践(旧課程の生徒指導・教育相談IIIに対応) (秋AB火5, 秋AB火6, 集中)

進路指導・キャリア教育(旧課程の進路指導に対応) (春AB火5, 秋AB火5, 集中)

教職実践演習(中・高) (4年次：集中)

教育実習(情報|数学|社会|公民) (4年次：集中)

他学類開設の教科に関する科目(必修)および教科指導法

数学科 CG基礎(創成；秋AB火34)、微分積分B(情科；春AB木34)、教科指導法に関する科目群(春秋ABC木12, 集中)

社会科 日本研究概論I(比文；秋AB木4)、日本研究概論II(比文；春AB木4)、欧米研究概論(比文；春AB金6)

アジア研究概論(比文；秋AB金3)、東洋の歴史と文化(日語；秋AB水1)、人文地理学(地球；春AB火1)、地誌学(地球；春AB木1)

社会科・公民科 教科指導法に関する科目群(春秋ABC水12, 集中)

情報科 教科指導法に関する科目群(集中)

令和7年度学年暦カレンダー

学群/大学院(筑波キャンパス)

春 学 期															秋 学 期																
パターン1(ABCモジュールを基本) ・ABCモジュール15週授業+期末試験 ・Aモジュール 5週授業+期末試験 ・BCモジュール 10週授業+期末試験								パターン2(ABモジュールを基本) ・ABモジュール10週授業+期末試験 ・Cモジュール 5週授業+期末試験								パターン1(ABCモジュールを基本) ・ABCモジュール15週授業+期末試験 ・Aモジュール 5週授業+期末試験 ・BCモジュール 10週授業+期末試験								パターン2(ABモジュールを基本) ・ABモジュール10週授業+期末試験 ・Cモジュール 5週授業+期末試験							
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	備考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考							
4月			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5	春季休業4.1~4.4 入学式4.5 新入生オリエンテーション4.7~4.9 学群1年次TOEIC®IPテスト4.8 オリエンテーション予備日4.10~4.11 春学期授業開始4.14				1	2	3	4	秋学期授業開始10.1								
	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11								
	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18	※16日は月曜日の授業を実施							
	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25	筑波キャンパス電気設備点検 (全学停電)10月下旬(予定)							
	27	28	29	30				27	28	29	30						26	27	28	29	30	31									
5月					1	2	3					1	2	3	※7日は火曜日の授業を実施								1	学園祭11.1~11.3(予定)							
	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	春季スポーツ・デー5.17~5.18		2	3	4	5	6	7	8	※5日は火曜日の授業を実施 ※7日は月曜日の授業を実施							
	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	春Aモジュール期末試験5.22		9	10	11	12	13	14	15	秋Aモジュール期末試験11.10 秋季スポーツ・デー11.15~11.16							
	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	学群3年次TOEIC®IPテスト(11月中下旬・オンライン予定)							
	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	※25日は月曜日の授業を実施 推薦入試11.27~11.28(予定)							
6月	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5	6								
	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13								
	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	秋ABモジュール期末試験 12.22~12.26							
	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27								
	29	30						29	30						春ABモジュール期末試験6.27.6.30~7.3		28	29	30	31				冬季休業12.27~1.4							
7月			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5									1	2	3						
	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	学群編入学試験7.12~7.13		4	5	6	7	8	9	10								
	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	※13日は月曜日の授業を実施 ※15日は金曜日の授業を実施							
	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	※21日(祝日)は月曜日の授業を実施		18	19	20	21	22	23	24								
	27	28	29	30	31			27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31								
8月						1	2						1	2	春ABCモジュール期末試験8.1.8.4~8.7 春Cモジュール期末試験8.8 春学期授業終了8.7 夏季休業8.9~9.30										秋ABCモジュール期末試験2.4.2.6.2.9 2.10.2.12						
	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9			1	2	3	4	5	6	7	秋学期授業終了2.12 秋Cモジュール期末試験2.13~2.16							
	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16			8	9	10	11	12	13	14	春季休業2.17~3.31							
	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23			15	16	17	18	19	20	21	個別学力検査等前期日程2.25~2.26							
	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30			22	23	24	25	26	27	28								
9月	31							31																							
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	6	7	医学類卒業日3.10							
	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	個別学力検査等後期日程3.12							
	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	卒業式/学位記授与式9.25 秋学期入学式9.30		15	16	17	18	19	20	21								
	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	卒業式/学位記授与式3.25							
授業 日数							15 15 15 15 15							15 15 15 15 15							15 15 15 15 15										

(注)

- 囲みは、国民の祝日に関する法律による休日(振替休日含む)を示す。
- 期末試験日は で示し、試験予備日を で示す。
- 授業日は で示す。
- 入学式・新入生オリエンテーション・卒業式・学位記授与式・TOEIC® IPテストは で示す。

- 11月4日(火)は、大学行事(学園祭)による臨時休講日。
- 11月26日(水)~11月28日(金)は推薦入試の関係で全日臨時休業とする。
- 1月16日(金)及び1月19日(月)は大学入学共通テストの関係で全日臨時休業とする。

クラス別開設授業科目一覧

共通科目

初年次導入・リテラシー

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
1120102	ファーストイヤーセミナー	1.0	1	春AB	木2	吉田 右子	教室内外の活動を通して、大学と社会の関係や大学における生活、学問に対する取り組み方などについて指導を行いつつ、教員と学生間及び学生相互間のコミュニケーションを図る。	知識1年1クラスと2年次以上対象。 CDP. 対面
1120202	ファーストイヤーセミナー	1.0	1	春AB	木2	高良 幸哉	教室内外の活動を通して、大学と社会の関係や大学における生活、学問に対する取り組み方などについて指導を行いつつ、教員と学生間及び学生相互間のコミュニケーションを図る。	知識2クラス対象。 CDP. 対面
1227631	学問への誘い	1.0	1	春A	水5,6	吉田 右子	本講義は、本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	知識1クラス対象 CDP. オンライン(オンデマンド型)
1227641	学問への誘い	1.0	1	春A	水5,6	高良 幸哉	本講義は、本学の学士課程教育への導入を担う。大学における学問の方法論へ誘(いざな)い、自らが専攻する学問分野への理解や、関連する諸分野との関係性も理解できる能力を涵養する。	知識2クラス対象 CDP. オンライン(オンデマンド型)
6126101	情報リテラシー(講義)	1.0	1	春B	月3,4	武田 将季	情報の基本概念と社会におけるコンピュータとインターネットの位置づけを理解した上で、情報の表現と計算、コンピュータの原理と構成、ソフトウェアの原理、インターネットの仕組みなどについて学ぶ。併せて、インターネットを安全かつ有意義に活用するために必要な情報倫理、情報セキュリティ、知的財産権に関する知識を学ぶ。	知識、教育対象 オンライン(対面併用型) 詳細はmanabaで確認すること。
6426102	情報リテラシー(演習)	1.0	1	春A	月3,4	西川 開	コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける。文書の作成、インターネットにおける情報表現と情報発信、プレゼンテーション作成を通じた情報表現と情報発信の手法を実践的に修得する。	知識対象 実務経験教員. 対面
6526102	データサイエンス	2.0	1	秋AB	月3,4	児島 宏明	データサイエンスの基礎的な概念を理解し、コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ。データの収集、データの管理、データの可視化、データの分析を通じて、データの理解と活用手法を実践的に修得する。先端的なデータサイエンスの事例に触れ、社会におけるデータの具体的な活用について理解する。	知識対象 実務経験教員. 対面
6530102	データサイエンス	2.0	2-4	秋AB	水5,6	狩野 均	データサイエンスの基礎的な概念を理解し、コンピュータを利用した基礎的なデータ分析技術を学ぶ。データの収集、データの管理、データの可視化、データの分析を通じて、データの理解と活用手法を実践的に修得する。先端的なデータサイエンスの事例に触れ、社会におけるデータの具体的な活用について理解する。	編入生対象 再履修生は原則自学類の科目を履修すること。 対面

専門基礎科目

知識情報学への導入

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA14111	知識情報概論	1.0	1	春A	火1,2	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を解明する学問である。	(GA14121)の単位修得済みの者は履修不可。 専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GA14121	知識情報概論	1.0	1	秋AB	月2	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を解明する学問である。	(GA14111)の単位修得済みの者は履修不可。 専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GA14201	知識情報システム概説	1.0	1	春BC	木4	高久 雅生, 阪口 哲男, 鈴木 伸崇, 関 洋平	ネットワーク社会における知識の構造化、提供、共有のための枠組みについて講義する。	専門導入科目(事前登録対象)。実務経験教員。オンライン(オンデマンド型)
GA14301	図書館概論	2.0	1	秋AB	木3,4	吉田 右子	図書館とは何かについて概説し、これからの図書館の在り方を考える。図書館の歴史と現状、機能と社会的意義。館種別図書館と利用者、図書館職員、類縁機関と関係団体、図書館の課題と展望等について幅広く学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GE12112	アカデミックスキルズ	1.0	1	秋AB	水3	吉田 右子	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年1クラスと2年次以上対象。 知識学類生に限る。CDP。対面
GE12122	アカデミックスキルズ	1.0	1	秋AB	水3	高良 幸哉	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年2クラス対象。 知識学類生に限る。CDP。対面
GE12132	アカデミックスキルズ	1.0	2	春AB	水3	高久 雅生	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識2年3クラス対象。 知識学類生に限る。CDP。対面
GE12142	アカデミックスキルズ	1.0	2	春AB	水3	照山 絢子	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識2年4クラス対象。 知識学類生に限る。CDP。対面

学群共通科目

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA10101	情報社会と法制度	2.0	2	秋AB	月5,6	高良 幸哉	情報化社会における法制度や情報モラル向上に必要な基礎知識を習得することを目指すため、現行の我が国の法制度の基礎を学び、ネットワーク社会における法整備の現状について講義する。	オンライン(オンデマンド型)
GA10201	知的財産概論	2.0	2	秋AB	金5,6	村井 麻衣子	知的財産に関する法制度を主要な概念や法理に基づいて学ぶ。著作権法、特許法を中心に、不正競争防止法、商標法など、知的財産諸法についての基礎的な知識を身につけ、知的財産法の法技術的な特色を踏まえた上で、情報化社会における望ましい制度のあり方について考察し、情報の保護と利用についてのバランス感覚や、問題解決能力を身につけることを目的とする。	オンライン(オンデマンド型)
GA12111	知能と情報科学	1.0	1	春BC	火2	秋本 洋平, 五十嵐 康彦, 伊藤 誠, 滝沢 穂高, 山田 武志, 合原 一究, 二村 保徳, 齊藤 秀, 飯塚 里志, 福地 一斗	本講義では、大規模なデータ解析および数値アルゴリズムを基盤とし、計算機によって知的かつ高度に情報処理を行う技術について、その基礎から応用まで幅広く学習する。	2020年度までに開設された「知能と情報科学」(GA12101)の単位を修得した者の履修は認めない。 専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

GA12201	計算と情報科学	1.0	1	春C	木5, 6	町田 文雄, 今倉 暁, アランニヤ, クラウス, 塩川 浩昭, 高橋 大介, 長谷部 浩二, 藤田 典久, 堀江 和正, 高橋 康博, 鹿野 豊	情報科学分野の中のそれぞれの学問領域について, その計量的側面に関して概説する。内容は計算モデル、大規模計算、データマイニング、マルチエージェントシステム、データ駆動ネットワーク、数値計算、遺伝的アルゴリズムなど。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GA12301	システムと情報科学	1.0	1	秋B	火5, 6	山口 佳樹, 山際 伸一, 佐藤 聡, 西出 隆志, 大山 恵弘	情報科学への導入となる基礎理論から応用までを概説し、専門的科目への導入としての基礎知識を習得する。本科目は特に、システムを中心に専門性を習得する上での事前知識となる原理や技術、理論について説明する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GA12401	情報科学概論	1.0	1	春B	金5, 6	叶 秀彩, 亀山 幸義, 櫻井 鉄也, 天笠 俊之, 國廣 昇, 朴 泰祐, 大矢 晃久, 萬 礼応	情報科学は情報の基礎理論からスーパーコンピュータやインターネット技術, 人工知能までを含む幅広い学問分野である。本講義では, 情報科学の中でも, これからのデジタル社会を支える基本技術に焦点をあてて解説する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GA13401	情報メディア入門	1.0	1	春A	金5, 6	木村 成伴, 川口 一画	情報メディア入門では情報メディア創成学類の専門領域としての学問分野を概観する。特に、様々な形態の情報メディアの具体例や、基盤となる技術、メディアに接する人間の認知特性について学ぶ。トピックとしては、画像・映像メディアと可視化、音楽・音響メディア、インタラクティブメディア、ロボット、認知科学とヒューマンインタフェース、プログラミング言語とその処理基盤、ネットワークとその利用形態に関するインターネットサイエンスなどから五つ程度が選ばれる。	2019年度以降の入学対象。情報メディア入門 A, B, C (GA13101, GA13201, GA13301)、情報メディア概論 (GC15101)、教養と科学 (GC10112, GC10122) のいずれかを修得済みの者は不可。専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
GA13501	コンテンツ入門	2.0	1	秋AB	金5, 6	陳 漢雄, 金尚泰, 落合陽一, Li Jingjing	情報メディア創成学類の専門領域としての各学問分野を概観する。前半5週では、メディアアート、グラフィックデザイン、メタデータ、データ工学とデータベース、音響・音楽情報処理、認知心理学、数理と情報技術などの学問分野を概観する。後半5週では、メディア・コンテンツ産業の潮流や社会的ニーズを理解するため、第一線で活躍するクリエイター、プロデューサー、エンジニアを講師にお招きし、最先端の創作活動や最新のビジネス動向を議論する。	2019年度以降の入学対象。情報メディア入門 A, B, C (GA13101, GA13201, GA13301)、コンテンツ応用論 (GA10301, GC14301)、情報メディア概論 (GC15101)、教養と科学 (GC10112, GC10122) のいずれかを修得済みの者は不可。専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

プログラミング基礎

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA18232	プログラミング入門A	2.0	1	秋AB	木5, 6	松村 敦, 時井 真紀	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	知識学類生および総合学域群生（知識学類への移行希望者）優先。 履修希望者は4月～秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。 同一年度でのプログラミング入門A・プログラミング入門Bの両方の履修を前提とする。 対面（オンライン併用型） 「プログラミング入門」（GA181*, FH604*）を修得済みの者は履修不可。
GA18332	プログラミング入門B	1.0	1	秋C	木5, 6	松村 敦, 時井 真紀	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを書いて、実行できるようになることを目指す。	知識学類生および総合学域群生（知識学類への移行希望者）優先。 履修希望者は4月～秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までにWEB Formで登録すること。FormのURLはシラバスに掲載される。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。 同一年度でのプログラミング入門A・プログラミング入門Bの両方の履修を前提とする。 対面（オンライン併用型） 「プログラミング入門」（GA181*, FH604*）および「プログラミング演習IA」を修得済みの者は履修不可。

数学

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA15141	情報数学A	2.0	1	春AB	木5, 6	伊藤 寛祥	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフを取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	知識学類生および総合学域群生（知識学類への移行希望者）優先。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。 対面（オンライン併用型）
GA15241	線形代数A	2.0	1	春BC	金3, 4	金 宣経	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行う。	知識情報・図書館学類生および総合学域群生（知識情報・図書館学類への移行希望者）優先。 履修者の移動調整等のため、春B開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 定員を超過した場合は履修調整をする場合がある。 対面（オンライン併用型）
GA15341	微分積分A	2.0	1	秋AB	金3, 4	加藤 誠	解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	履修者の移動調整等のため、秋A開始の専門導入科目の事前登録期限までに履修申請をしていること。 定員を超過した場合は、履修調整を行う場合がある（知識情報・図書館学類生および総合学域群生（知識情報・図書館学類への移行希望者）で情報数学A（GA15141）を履修しているもの）優先。また、クラス間での履修者の移動調整を行う場合もある。 対面（オンライン併用型）

統計とその応用

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE10911	統計	2.0	2	春AB	水5,6	歳森 敦	数理統計学の基礎を講義する。内容は、統計の意味、代表値、確率、母集団と標本、正規分布、統計的推定、仮説検定の考え方などである。	対面
GE20401	量的調査法	2.0	2	秋AB	木3,4	叶 少瑜	質問紙調査の企画、標本抽出の方法、調査票の設計、調査の実施、作表とグラフ化、クロス集計と仮説検定など、質問紙調査と分析のための知識を講義する。	対面(オンライン併用型)
GE20511	多変量解析	2.0	2	春C	月・木3,4	大澤 文人	データ解析の基礎として、重回帰分析や主成分分析、判別分析など基礎的な多変量解析手法を演習付きで講義する。	知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)

知識情報演習

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE11012	知識情報演習I-1	2.0	2	春AB	火1,2	武田 将季、 阪口 哲男	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,3クラス対象。 対面 履修希望者が実習室定員を超える場合は初回に受講調整。
GE11022	知識情報演習I-2	2.0	2	春AB	水1,2	武田 将季、 鈴木 伸崇	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識2,4クラス対象。 対面 履修希望者が実習室定員を超える場合は初回に受講調整。
GE11112	知識情報演習II-1	2.0	2	春C秋A	火1,2	原 淳之、 鐘 冬樹	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識1,3クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11122	知識情報演習II-2	2.0	2	春C秋A	水1,2	原 淳之、 池内 淳	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識2,4クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11212	知識情報演習III-1	2.0	2	秋BC	火1,2	小泉 公乃、 上保 秀夫	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,3クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11222	知識情報演習III-2	2.0	2	秋BC	水1,2	西川 開、 加藤 誠	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識2,4クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。

専門英語への導入

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE11612	専門英語A1	1.0	2	春ABC	水3	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11712(秋ABC水3)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 知識学類生に限る。対面
GE11632	専門英語A1	1.0	2	春ABC	水4	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11732(秋ABC水4)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 知識学類生に限る。対面
GE11642	専門英語A1	1.0	2	春ABC	水4	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11742(秋ABC水4)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 知識学類生に限る。対面
GE11712	専門英語A2	1.0	2	秋ABC	水3	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11612(春ABC水3)とセットで履修すること。 知識学類生に限る。対面
GE11732	専門英語A2	1.0	2	秋ABC	水4	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11632(春ABC水4)とセットで履修すること。 知識学類生に限る。対面
GE11742	専門英語A2	1.0	2	秋ABC	水4	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11642(春ABC水4)とセットで履修すること。 知識学類生に限る。対面

知識と人間

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE10201	哲学	2.0	2	秋AB	火3,4	横山 幹子	西洋哲学の歴史を概観し、哲学史に関する基礎的な知識を習得することを目指す。論理学の基本的な考え方にも触れる。そして、それらを学ぶことを通して、「考えること」の意味と重要性について考える契機を与える。	対面
GE20601	情報探索論	2.0	2	春AB	木5,6	辻 慶太	情報探索のための情報の蓄積・更新、情報探索の基本的な方法・理論および情報探索のプロセスについて、利用者の探索行動の特性および情報要求と関連づけながら学ぶ。	対面
GE20701	質的調査法	2.0	2	春AB	木3,4	照山 絢子	この授業では、社会学・文化人類学における質的調査の柱であるエスノグラフィ(参与観察とインタビュー)に焦点を当てて、そのさまざまなアプローチを概観する。質的調査に基づいて書かれた文献に多く触れることで理論の応用方法を学ぶ。	対面
GE20801	情報行動論	2.0	2	秋C	火・金5,6	松林 麻実子	情報の獲得と発信に関連する認知的、行動的、社会的諸要素の理解と、情報獲得のための行動様式等について学ぶ。	対面 履修希望者が90名を超えた場合、初回授業で受講調整(初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)。
GE20901	知識発見基礎論	2.0	2	秋C	火3,4,木1,2	松原 正樹	創造性を伴う知識発見の認知過程について学ぶ。またより良く生きるための自己理解や課題解決のための様々な知識発見技法について実践的に学ぶ。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が80名を超えた場合、初回授業で受講調整(初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)
GE22501	システム思考	2.0	2	秋AB	木1,2	真榮城 哲也	システム思考は、対象物や現象を、複数の要因のつながりとして捉え、要因間の相互作用を理解することを目的とする。問題の見えている部分を近視眼的・表層的に捉えるのではなく、全体像を様々な要素のつながりとして理解し、問題の本質を明らかにする。対象物や現象が、複数の要素から構成され、全体の性質が要素間の相互作用によって決定付けられると捉える視点の考え方や方法論、デザインについて解説する。また、手法の習得のための演習を行う。応用対象として自然界と社会の両者を扱う。	対面
GE22601	ユーザ研究実験法	2.0	2	秋AB	火5,6	上保 秀夫	本科目では、情報行動をとる主体に着目するユーザ研究のうち、特に実験法について実践を通して学ぶ。さらに、検索エンジンなどの情報システム評価にユーザ 研究を取り入れる方法について理解を深める。	対面

知識とシステム

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE21001	知識資源組織化論	2.0	2	春AB	月3,4	高久 雅生	知識資源の効果的かつ効率的な利用を目的として行われる、情報の分析、記述に基づく知識資源の組織化に関する基本的な考え方を学ぶ。	対面
GE21101	データベース概説	2.0	2	春AB	火3,4	鈴木 伸崇	データベース技術の基礎概念を学ぶ。具体的には、データベースの定義と種類、データモデリングの考え方、リレーショナルモデルの基礎、データベース管理システム(DBMS)の基本機能、データベース設計と管理などを、体系的に講義と演習を通じて学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE21201	コンピュータシステムとネットワーク	2.0	2	秋AB	月3,4	阪口 哲男	現代社会で欠かせないコンピュータシステムとネットワークについての基本構成と動作原理を学ぶ。ハードウェア、ソフトウェアの各構成要素、システム間のデータ送受の基本的な手順と通信規約の役割を解説し、それらを総合した応用等についても概説する。	対面
GE21301	自然言語解析基礎	2.0	2	秋AB	月1,2	関 洋平	人間の日常言語の内容を計算機で解析する自然言語解析は、機械翻訳、Web 検索、対話システム、質問応答、音声認識、仮名漢字変換などで実用的な成果をあげている。本講義は、自然言語処理の概要、形態素解析、言語モデル、構文解析、意味解析など自然言語解析の基礎理論を幅広く講義する。	対面(オンライン併用型)
GE22201	機械学習	2.0	2	秋C	月5,6,木5,6	山本 修平	現在の人工知能の進歩を支える機械学習について講義と演習を行う。教師あり学習および教師なし学習を主な対象として、それらの代表的なアルゴリズムについて学ぶ。機械学習システムを適切に開発・利用するための方法論にも触れる。	対面

GE22401	情報数学B	2.0	2	秋AB	月3,4	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での実現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	GC21501と同一。 対面 情報メディア創成学類生はGC21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。 ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学II (GC21201)の単位を修得した者の履修は認めない。
---------	-------	-----	---	-----	------	-------	--	--

知識と社会

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE21401	メディア社会学	2.0	2	秋C	月・木3,4	寺地 美奈子	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。哲学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェーバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るか論じる。	GC20101と同一。 オンライン(オンデマンド型) 情報メディア創成学類生はGC20101を、それ以外の学生はGE21401を履修すること。
GE21701	生涯学習と図書館	2.0	2	春AB	月5,6	吉田 右子	生涯学習の意義、関連法と社会教育行政、生涯学習施設の運営、他機関との連携、海外の生涯学習の動向について概説する。図書館における生涯学習の支援の在り方について、国内と海外の事例を幅広く学ぶ。	対面
GE22101	経営・組織論	2.0	2	春AB	金5,6	大庭 一郎	この講義では、図書館の経営や情報システムの構築に必要な、経営概念、経営管理、意思決定、組織、人間行動等についての基礎を概説する。経営管理機能は、一般に人々が共通の目標を達成するために協同で活動する場合に、常に存在する機能である。そこで、この講義では、経営管理一般についての入門的解説に重点を置いて講義を展開し、あわせて、経営管理論の視点から図書館や情報システムのとらえ方について解説する。	実務経験教員。対面
GE22701	アーカイブズ基礎	2.0	2	春AB	火5,6	白井 哲哉, パールイ シェフ エド ワルド, 村田 光司	記録情報資源としてのアーカイブズ(記録、資料)やその保存活用機関であるアーカイブズ(施設)に関する基礎的な知識や考え、またデジタル時代におけるアーカイブズの現状や課題を概説して、図書館情報学や博物館情報学との関連を踏まえたアーカイブズをめぐる学問領域への理解を深める。	実務経験教員。対面

メディアの理解

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE21812	テキスト解釈-1	2.0	2	秋AB	木5,6	白井 哲哉	主に江戸時代の古文書を対象に、テキストの音読・翻刻・解釈の技術に関する基礎的なトレーニングを行い、紙媒体文字メディアの調査研究の方法を理解する。	実務経験教員。対面
GE21822	テキスト解釈-2	2.0	2	秋AB	木5,6	村田 光司	主として前近代ヨーロッパの文字テキスト(歴史的事件や神話・伝承などに関する記録群)を対象として、記録の内容や情報源、伝達といった諸要素の基礎的な分析を行い、文字資料を多面的に読解・調査するため必要な能力を養う。	対面(オンライン併用型)
GE21862	テキスト解釈-3	2.0	2	秋AB	木5,6	松永 瑠成	江戸時代の川柳は、当時の言葉・文化・風俗に加えて、日本の歴史や文芸などの知識がなければ読み解くことができない。本科目では、川柳の解釈をとおして、過去のメディアを読み解くために必要な知識・技術・能力を養う。また、メディアを読み解き得られた情報をもとに思考する方法を学ぶ。	対面

知的探求の世界

科目番号	科目名	単位数	標準 履修 年次	実施 学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE33013	知的探求の世界I-1	2.0	2	通年	応談	若林 啓	言語の起源は謎に包まれている。言語の創発過程は直接化石に残らないことから、考古学的な証拠の不足を補う数理的アプローチが必要とされている。本科目では、AIエージェントを含む計算モデルを用いて、言語やコミュニケーションの創発と進化に関する数理的な性質を分析する実験に取り組む。これにより、マルチエージェント強化学習や進化計算などの手法について実践的に学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE33033	知的探求の世界I-3	2.0	2				TRECやCLEF, NTCIRなどの評価型ワークショップにて提案されている。情報検索タスクに取り組むことで、情報検索アルゴリズムや自然言語処理、機械学習などの手法について実践的に学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE33043	知的探求の世界I-4	2.0	2	通年	応談	李 昇姫	人間の感性は測定可能であるか。直感的かつ抽象的なイメージから実用的な情報に可視化する方法を探る。	西暦奇数年度開講。 対面
GE33053	知的探求の世界I-5	2.0	2				【ソースコード講読1】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
GE33063	知的探求の世界I-6	2.0	2				ビッグデータ、機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます。これらを組み合わせて、人手だけ、もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます。また、卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE32013	知的探求の世界II-1	1.0	3				言語の起源は謎に包まれている。言語の創発過程は直接化石に残らないことから、考古学的な証拠の不足を補う数理的アプローチが必要とされている。本科目では、AIエージェントを含む計算モデルを用いて、言語やコミュニケーションの創発と進化に関する数理的な性質を分析する実験に取り組む。これにより、マルチエージェント強化学習や進化計算などの手法について実践的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE32033	知的探求の世界II-3	1.0	3				TRECやCLEF, NTCIRなどの評価型ワークショップにて提案されている。情報検索タスクに取り組むことで、情報検索アルゴリズムや自然言語処理、機械学習などの手法について実践的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE32043	知的探求の世界II-4	1.0	3				人間の感性は測定可能であるか。直感的かつ抽象的なイメージから実用的な情報に可視化する方法を探る。	西暦偶数年度開講。 対面
GE32053	知的探求の世界II-5	1.0	3	春ABC 秋A	応談	阪口 哲男	【ソースコード講読2】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
GE32063	知的探求の世界II-6	1.0	3				ビッグデータ、機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます。これらを組み合わせて、人手だけ、もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます。また、卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)

専門科目（共通）

学群共通科目

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GA40103	体験型システム開発A	3.0	3・4	春ABC	水3, 4, 金5, 6	知識情報・図書館学類 長	現在のモノづくりの基礎を担っている組み込み技術、実際の課題に基づく課題解決型学習によって実践的に習得することを目指す。	情報学群 組み込み技術キャンパス 0JT受講者対象科目。 オンライン(対面併用型) オンライン（同時双方向型）を基本とする
GA40203	体験型システム開発B	3.0	3・4	秋ABC	水3, 4, 金5, 6	知識情報・図書館学類 長	現在のモノづくりの基礎を担っている組み込み技術、実際の課題に基づく課題解決型学習によって実践的に習得することを目指す。	情報学群 組み込み技術キャンパス 0JT受講者対象科目。 オンライン(対面併用型) オンライン（同時双方向型）と対面にて実施する。
GA40503	ビジネスシステムデザイン基礎Ⅰ	2.0	1・2	夏季休業中	集中	面 和成, 川口 一画, 高橋 大成	ICTを活用して身近な社会課題を解決することを目指して、チームを組んでPBL形式でプロダクト開発を行う。はじめに適切な課題設定と解決方法提案のための手法を学び、チーム毎に開発テーマを決定する。その後、外部講師（アジャイルコーチ）の指導の元、アジャイル開発手法（スクラム）を用いて漸進的に開発を進める基礎的な能力を習得する。	enPiT関連科目。 時限等詳細は掲示板にて周知する。 本科目ではWebアプリケーション等の開発を行う。そのための基礎的な知識やスキルを各自で事前習得しておくことが望ましい。 機材の関係で履修を制限することがある。 人数確認のための事前登録等、履修にあたっての注意事項を4月に開催する個別説明会にて説明を行うため、履修希望者は必ず参加すること。（個別説明会に参加できなかった場合は担当教員に連絡をとること。） 対面（オンライン併用型）
GA40603	ビジネスシステムデザイン実践Ⅰ	2.0	1・2	秋ABC	応談	面 和成, 川口 一画, 高橋 大成	ICTを活用して身近な社会課題を解決することを目指して、チームを組んでPBL形式でプロダクト開発を行う。ビジネスシステムデザイン基礎Ⅰでの学習内容を活用し、アジャイル開発手法（スクラム）を用いてプロダクトおよびチームを主体的に改善しながら漸進的に開発を進める実践的な能力を習得する。	enPiT関連科目。 ビジネスシステムデザイン基礎Ⅰ（GA40503）の履修および習得を前提とする。 機材の関係で履修を制限することがある。 対面（オンライン併用型）
GA40703	ビジネスシステムデザイン基礎Ⅱ	2.0	3・4	夏季休業中	集中	面 和成, 川口 一画, 高橋 大成	ICTを活用して身近な社会課題を解決することを目指して、チームを組んでPBL形式でプロダクト開発を行う。はじめに適切な課題設定と解決方法提案のための手法を学び、チーム毎に開発テーマを決定する。その後、外部講師（アジャイルコーチ）の指導の元、アジャイル開発手法（スクラム）を用いて漸進的に開発を進める基礎的な能力を習得する。また、開発を通してチーム運営とプロダクト開発を主導する能力を養う。	enPiT関連科目。 本科目ではWebアプリケーション等の開発を行う。そのための基礎的な知識やスキルを各自で事前習得しておくことが望ましい。 機材の関係で履修を制限することがある。 人数確認のための事前登録等、履修にあたっての注意事項を4月に開催する個別説明会にて説明を行うため、履修希望者は必ず参加すること。（個別説明会に参加できなかった場合は担当教員に連絡をとること。） 対面（オンライン併用型）
GA40803	ビジネスシステムデザイン実践Ⅱ	3.0	3・4	秋ABC	水3, 4, 金5, 6	面 和成, 川口 一画, 高橋 大成	ICTを活用して身近な社会課題を解決することを目指して、チームを組んでPBL形式でプロダクト開発を行う。ビジネスシステムデザイン基礎Ⅱでの学習内容を活用し、アジャイル開発手法（スクラム）を用いてプロダクトおよびチームを主体的に改善しながら漸進的に開発を進める実践的な能力を習得する。また、チーム運営とプロダクト開発を主導する能力を養う。	enPiT関連科目。 ビジネスシステムデザイン基礎Ⅱ（GA40703）の履修および習得を前提とする。 機材の関係で履修を制限することがある。 対面（オンライン併用型）

司書教諭科目

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE40201	学習指導と学校図書館	2.0	3	秋AB	火5,6	小野 永貴	学校には必ず学校図書館があり、様々なメディアが提供されている。この学校図書館の機能とメディアを駆使し、効果的な教科教育や探究学習指導が行える人材になるべく、「読書・学習・情報」の3観点から指導手法や学習支援の枠組みを理解する。そして、発達段階に応じた読解力・探究力・情報リテラシー育成の在り方について考究する。	実務経験教員。対面(オンライン併用型) 対面5回+オンライン5回で実施。 オンラインの回は原則的にリアルタイム型とするが、録画映像も公開する。対面の回は講義を収録し、来校できなかった者に向けて配信する予定。(学生の事情を考慮し部分的にオンデマンド受講を認める場合もある)
GE40301	学校図書館メディアの構成	2.0	3	秋AB	火1,2	池内 淳	学校図書館メディアおよび専門職としての司書教諭を理解し、学校図書館メディアを用いた学校教育活動の支援に関する認識を深め、多様なメディアを扱うことを可能とする、実践的な知識と技術を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE40401	読書と豊かな人間性	2.0	3	春AB	金5,6	鈴木 佳苗	児童・生徒の読書の現状と読書の影響について理解し、発達段階に即した読書教育の理念と方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は、初回に受講調整を行います。 初回の授業(金曜日5-6時限)に出席できない場合は、5時限目開始より前に必ず連絡してください(受講調整を行う場合には、事前に連絡がないと履修できない可能性があります)。 対面(オンライン併用型)
GE40501	情報メディアの活用	2.0	3	秋AB	火3,4	大澤 文人	活字メディア、視聴覚メディア、教育用ソフトウェア、ネットワーク上の情報資源等多様な情報メディアの特性を踏まえて、それらを教育現場で活用していく方法について学ぶ。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が100名を超える場合は初回に受講調整

インターンシップ

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE40603	インターンシップ	2.0	3	夏季休業中	集中	村井 麻衣子, 吉田 右子, 大澤 文人, 芳鐘 冬樹	図書館や企業などの職場における就業経験を通して、知識や情報と職業の関わり、知識や情報に関わる職業人としてのあり方を理解する。知識や情報と社会の関係、情報化、情報倫理、情報技術に加え、職業倫理、職業観、勤労観などを、職場での体験から学ぶ。	本科目の履修は原則として3年次生以上に限る。 知識学類生に限る。CDP。対面(オンライン併用型) 受講生は学研災付帯賠AコースまたはBコースへの加入必須。
GE40703	国際インターンシップ	2.0	3・4	通年	応談	鈴木 佳苗, 原 淳之, パールシェフ エドワルド	海外の図書館や情報センターにおいて、図書館・情報業務を経験する。	知識学類生に限る。CDP。対面(オンライン併用型)
GE42002	国際学術演習A	1.0	1-4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口に申し出ること。成績はP/Fで評価。 2025年度開講せず。 知識学類生に限る。G科目。対面(オンライン併用型)
GE42102	国際学術演習B	1.0	1-4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口に申し出ること。成績はP/Fで評価。 2025年度開講せず。 知識学類生に限る。G科目。対面(オンライン併用型)

研究と英語

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE50712	専門英語B-1	1.0	3	春AB	月4	芳鐘 冬樹	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力を専門書の講読等を通じて習得する。 図書館情報学分野の英語で書かれた学術雑誌の論文を教材として用いる。学術論文は特有の構成を持つ文章であるので、まずそれを踏まえた理解の方法について解説する。 授業は、毎回、各自、指定された論文を読み、担当者が内容を発表する輪読形式をとる。英語の文章を漫然と読んで「頭の中で分かったつもりになるだけ」ということにならないよう、読んだ内容を論理的に整理して「日本語でまとめる(逐語訳である必要はない)」練習と、それを他者に説明する練習を行う。 授業の理解度の確認のため、数回簡単な小テストを実施する。	対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生、および、知識情報システム主専攻生の一部(TWINSにて掲示)対象。
GE50722	専門英語B-2	1.0	3				This course aims to make students familiar with academic English. Students will learn how to read and write research papers. Also, students will practice making a presentation and listening to others' research presentations. This course is designated for undergraduate students and will be based on entire activities of conducting research.	英語で授業。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 知識情報システム主専攻生対象。
GE50732	専門英語B-3	1.0	3	春AB	月4	パールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語能力をミニ・レクチャーの聴解、学術的なテキストの講読、アカデミック・ライフ関連の会話や作文の練習等を通じて習得する。	対面 情報資源経営主専攻生対象、および、知識情報システム主専攻生の一部(TWINSにて掲示)対象。
GE50812	専門英語C-1	1.0	3	秋AB	月4		学術論文の読解と動画を視聴することで、英語による読解力とプレゼンテーションスキルを習得する方法を学ぶ。	対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生対象
GE50822	専門英語C-2	1.0	3	秋AB	月4	パールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力や表現力を学術的なテキストの講読や作文の練習等を通じて習得する。	知識情報システム主専攻生対象。 対面 期末試験は対面で実施。
GE50832	専門英語C-3	1.0	3	秋AB	月3	小泉 公乃	この授業では、はじめに、専門科目や卒業研究に必要な英文読解力を学術論文の精読を通じて修得する。そのうえで、英語による発表・議論の映像資料の聴解を通して、国際会議等でコミュニケーションをするための基礎的な力を身に付けることを目指す。学術論文の精読では、主に図書館情報学分野を主題として扱う。英語による発表・議論の映像資料は、分野を問わず優良なものを扱う。	オンライン(オンデマンド型) 情報資源経営主専攻生対象。

卒業研究

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE51118	卒業研究A	3.0	4	春ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE51218	卒業研究B	3.0	4	秋ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE51128	卒業研究A	3.0	4	秋ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。 知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE51228	卒業研究B	3.0	4	春ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。 知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)

専門科目（知識科学主専攻）

主専攻実習

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE60113	知識科学実習A	1.0	3	春AB	月5,6	知識科学主専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学主専攻を構成する各領域の研究手法や技術を経験して主専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク（内容に応じて個人作業）で実習をすすめる。	対面（オンライン併用型） GE60103「知識科学実習」を修得済みの者は履修不可。
GE60123	知識科学実習B	1.0	3	秋AB	月5,6	知識科学主専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学主専攻を構成する各領域の研究手法や技術を経験して主専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク（内容に応じて個人作業）で実習をすすめる。	対面（オンライン併用型） GE60103「知識科学実習」を修得済みの者は履修不可。

専門情報

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE60201	テクニカルコミュニケーション	2.0	3・4	春AB	火5,6	高久 雅生、平湯 あつし	専門情報を正確にわかりやすく伝えることを意図した、文書の企画・構成・表現設計等に必要とされる知識・技術・考え方を、マニュアル制作などを題材に学ぶ。また、実際の専門職としてのテクニカルコミュニケーターの業務や活動を演習を通して学ぶ。	履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整を行う。 授業の奇数回を対面授業、偶数回をオンライン授業（リアルタイム進行）で行う。 実務経験教員、対面（オンライン併用型）

知識共有

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE60501	知識論	2.0	3・4	春AB	火3,4	横山 幹子	知識の哲学の観点から、「知識」についての問題を取り扱う。知識の哲学における「知識」の考え方の歴史を踏まえた上で、「知識」についての現代の多様な考え方の一部を紹介する。	対面
GE60601	知識形成論	2.0	3・4	秋AB	木5,6	辻 慶太	社会における知識の形成に寄与し、またテキストの形で表現・形成された知識そのものと言える辞書的な言語資源、即ち百科事典、国語辞書、専門用語辞書、シソーラス、オントロジー等について、その歴史や現状、意義や問題点、作成方法などを学習する。	対面
GE62101	知識コミュニケーション	2.0	3・4	秋AB	火5,6	照山 絢子	前半においてはコミュニケーション学の理論的な基礎を概観し、後半は各論としてさまざまな角度からコミュニケーションの多様な形態と実践について考えていく。	対面
GE62501	Human Information Interaction	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GC55201、GE73101と同一。 英語で授業。 G科目、対面 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム主専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可
GE62601	身体知	2.0	3・4	春AB	月1,2	松原 正樹	身体感覚を通じて身心を観察する観想的実践や身体知の研究手法について学び、身体性に基づく人間の知を体験的に理解する。受講者一人ひとりの生活に現れる身体知に関する問いを探究し、観察・洞察・議論を行う形式で授業を行う。	対面 履修希望者が28名を超えた場合、初回授業で受講調整（初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること）
GE62701	メディア技術と文化	2.0	3・4				われわれが普段接しているメディアの技術的側面に着目し、技術と人間・社会との関わりという文化的現象について学ぶ。各メディア媒体、放送や通信サービス、インターネット上のサービスがどのような背景から誕生し、私たちの生活をいかに変容させ、社会にいかなる影響を与えているのかを考察し、メディア技術と文化のあり方を探る。	2025年度開講せず。 オンライン（オンデマンド型）
GE62801	日本図書と文字メディア	2.0	3・4	秋AB	火3,4	松永 瑠成	本科目では、古典籍をはじめとする日本図書および文字メディアに関する基礎的知識とその取扱い方法、および正確な書誌のとり方などを学習する。また、デジタル技術が普及する現代における日本図書・文字メディアの活用方法についても教授する。	対面

知識行動

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE60801	学術メディア論	2.0	3・4	春AB	金3,4	松林 麻実子	学術コミュニティを対象として、情報の生産・流通・利用に関する学術情報流通モデル、学術情報メディア等を総合的に学ぶ。	対面
GE61001	コミュニティ情報論	2.0	3・4				数量的なモデル・分析を通じて共同体における知識・情報の利用とそれにもとづく様々な活動について学ぶ。	2025年度開講せず。
GE61101	図書館建築論	2.0	3・4	秋AB	水5,6	川島 宏	図書館は人（司書）と資料（図書）と施設（建築）で成り立っている。授業では、図書館施設の歴史や現在、そして将来に向けて、施設構築や運営の考え方・手法等を多角的に展開する。多くの魅力ある事例を紹介し、知識習得に留まることなく、施設のあり方を「自ら考える」契機を提供する。	実務経験教員。対面
GE62301	ソーシャルメディア分析	2.0	3・4	秋AB	水1,2	叶 少瑜	ソーシャルメディアの概念と現状、その使用による影響・分析手法などについて論じる。	対面（オンライン併用型）

知識発見

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE61301	情報評価	2.0	3・4	春AB	火1,2	芳鐘 冬樹	情報の生産、流通、蓄積、提供、利用の諸側面における情報評価の意義と方法論について、学術情報を中心に学ぶ。また、計量情報学的モデル・指標の基礎と、それらの情報評価への応用の実際についても幅広く学ぶ。	対面
GE61801	データ構造とアルゴリズム	2.0	3・4	秋AB	木1,2	伊藤 寛祥	高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する。各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し、それらの比較を行うことを通して、高速アルゴリズムの設計手法を議論する。	GE71801と同一。 対面（オンライン併用型） 知識科学主専攻生はGE61801を、それ以外の学生はGE71801を履修すること。
GE61901	情報検索システム	2.0	3・4	春AB	金1,2	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原則、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE70501と同一。 対面（オンライン併用型） 知識科学主専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。
GE62001	生命情報学	2.0	3・4	春AB	木5,6	真榮城 哲也	生命が持つ情報の側面（遺伝情報や脳活動、関係性ネットワーク）について学ぶ。さらに、近年の生物学の研究において、必須となっている情報学の考え方や手法を、関連する生命現象とともに学ぶ。	対面
GE62401	Machine Learning and Information Retrieval	2.0	3・4				Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GC55301, GE72701と同一。 英語で授業。 2025年度開講せず。 G科目。対面（オンライン併用型） 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム主専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。

専門科目（知識情報システム専攻）

主専攻実習

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE70113	知識情報システム実習A	1.0	3	春AB	月5, 6	知識情報システム専攻担当教員	知識情報システム専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面（オンライン併用型） GE70103 「知識情報システム実習」を修得済みの者は履修不可。
GE70123	知識情報システム実習B	1.0	3	秋AB	月5, 6	知識情報システム専攻担当教員	知識情報システム専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面（オンライン併用型） GE70103 「知識情報システム実習」を修得済みの者は履修不可。

知識情報システムの実践

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE70201	情報サービスシステム	2.0	3・4	春AB	火3, 4	松村 敦	高度情報化社会の情報提供サービスの将来像に関して、求められる情報サービスと技術を、オリジナル情報提供者、キャリア、利用者などそれぞれの立場から学ぶ。	対面（オンライン併用型）
GE70301	デジタルドキュメント	2.0	3・4	秋AB	木3, 4	高久 雅生	デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GC53401と同一。 実務経験教員。対面 情報メディア創成学類生はGC53401を、それ以外の学生はGE70301を履修すること
GE70401	デジタルライブラリ	2.0	3・4	春AB	木3, 4	宇陀 則彦	デジタルライブラリの誕生から図書館サービスとして定着するまでの流れを説明し、学術情報基盤を前提としたデジタルライブラリの機能について考察する。また、デジタルアーカイブやデジタルミュージアムとの違いについても論じる。	対面
GE73201	博物館情報学	2.0	3・4	秋AB	金3, 4	永井 正勝	博物館資料のドキュメンテーションならびに博物館資料のデジタル化と活用について検討する。	対面

知識情報システムの実装

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE70501	情報検索システム	2.0	3・4	春AB	金1, 2	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原理、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE61901と同一。 対面（オンライン併用型） 知識科学主専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。
GE70601	Webプログラミング	2.0	3・4	春AB	木1, 2	阪口 哲男	インターネットでは、Webの機構を用いて様々な情報提供や取引、人や組織間のコミュニケーションが行われている。Web上で情報提供やコミュニケーションの機能を実現するための、サーバ側プログラミングの基本原理と実際、セキュリティ問題などを解説し、事例を紹介する。実習を含む。	対面
GE70701	マルチメディアシステム	2.0	3・4	春AB	火1, 2	大澤 文人	マルチメディア工学の基礎、デジタル情報の編集加工、マルチメディア表現などを講義と実習を通じて学ぶ。また、技術面だけでなくマルチメディアサービスと社会の関連についても学ぶ。	対面（オンライン併用型） 情報科免許希望者の2年次生の受講を認めます。
GE72701	Machine Learning and Information Retrieval	2.0	3・4				Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GC55301, GE62401と同一。 英語で授業。 2025年度開講せず。 G科目。対面（オンライン併用型） 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム主専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。

知識情報システムの設計

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE70801	データ表現と処理	2.0	3・4				XMLなどの文書データの表現と処理について概説する。具体的には、XMLデータとそのスキーマ言語、電子書籍（EPUB）、XMLと関係モデルとの関連、XPathによるXMLデータの検索・加工などについて説明する。	2025年度開講せず。 対面（オンライン併用型）

GE70901	データベース技術	2.0	3・4				データベースシステムを実際に構築する際の諸技術と必要知識について、リレーショナルデータベースを主な対象にして、APIをととしたアプリケーションとの連携、スキーマ定義、インデックスの利用と効果などを、演習を交えながら学ぶ。	2025年度開講せず。 オンライン(対面併用型)
GE71001	情報デザインとインタフェース	2.0	3・4	春AB	火5,6	時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE71101	ヒューマンインタフェース	2.0	3・4	春AB	木5,6	高橋 伸, 古川 宏	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの原理、インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し、これらの考え方にもとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目 BC12671, GB40301と同一。 対面
GE72501	メディアアート	2.0	3・4	春C	火・金 3,4	落合 陽一, Li Jingjing	メディア装置の発明を伴う芸術活動が近年盛んに行われるようになってきている。文化的表現の手法として計算機科学や応用物理や生物などの工学的発明を伴った表現について国内外で注目が集まりつつある。本講義では、メディア技術史とメディア表現技術を概観し、斬新な表現方法について考察する。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が30名を超える場合は受講調整。制作課題のための材料費は一部自己負担有り、詳細はシラバス参照のこと
GE72601	Human-computer Interaction	2.0	3・4	秋C	月・木 3,4	金 宣経	This course introduces basic concepts in the theory and practice of Human-Computer Interaction (HCI). The course will help students acquire knowledge about fundamental principles, techniques, and methods for designing, prototyping, and evaluating user interfaces.	GC55401と同一。 英語で授業。 G科目。対面(オンライン併用型) 情報メディア創成学類生はGC55401を、それ以外の学生はGE72601を履修すること。
GE73101	Human Information Interaction	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GC55201, GE62501と同一。 英語で授業。 G科目。対面 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可

知識情報の組織化

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE72801	知識資源の分類と索引	2.0	3・4				本講義では、大量の知識資源の中から特定の主題に関する知識資源を容易に見発できるようにするための方法として、分類および索引について講述する。前半では、代表的な分類法の紹介と共に、分類の基本的な事項について説明する。後半では、統制語や自由語による索引法について述べる。また、分類と索引の自動化についても触れ、Web上の知識資源への応用についても紹介する。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

知識情報システムの原理

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE71801	データ構造とアルゴリズム	2.0	3・4	秋AB	木1,2	伊藤 寛祥	高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する。各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し、それらの比較を行うことを通して、高速アルゴリズムの設計手法を議論する。	GE61801と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学専攻生はGE61801を、それ以外の学生はGE71801を履修すること。
GE71901	マークアップ言語	2.0	3・4	春AB	月1,2	永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML(Extensible Markup Language)の基礎とXSLT(XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また、理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GC51901と同一。 対面(オンライン併用型) 受講人数は70人程度を上限とする
GE72901	数式処理システム論	2.0	3・4	秋AB	木1,2	森継 修一	GC21501「情報数学B」で学んだ情報系数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数系の計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	GC54801と同一。 対面

専門科目（情報資源経営主専攻）

主専攻実習

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE80113	情報資源経営実習A	1.0	3	春AB	月5, 6	情報資源経営主専攻担当教員	情報資源経営主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE80103「情報資源経営実習」を修得済みの者は履修不可。
GE80123	情報資源経営実習B	1.0	3	秋AB	月5, 6	情報資源経営主専攻担当教員	情報資源経営主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE80103「情報資源経営実習」を修得済みの者は履修不可。

知識情報環境の構築

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE80301	学術情報基盤論	2.0	3・4	春AB	火3, 4	西川 開	論文や研究データといった学術情報が流通する基本的な仕組みや政策動向、および学術情報流通（scholarly communication）という事象に関連する研究領域の動向について学ぶ。	実務経験教員。対面

知識情報サービスの経営

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE80501	情報サービス経営論	2.0	3・4	春AB	水1, 2	池内 淳	図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説します。	対面(オンライン併用型)
GE82601	パブリックガバナンス	2.0	3・4	秋AB	金5, 6	小泉 公乃	パブリックガバナンス(共治)が、政治、政治哲学、公共経営、経営管理、図書館情報学など幅広い学問領域で議論されてきている。この中心には、市民とコミュニティが位置付けられており、知識・情報サービスを市民に提供する図書館はパブリックガバナンスの基盤となる。また、パブリックガバナンスの概念も情報技術の影響を受け、イーガバナンスなどの電子的な領域にまで拡張してきている。この授業では、パブリックガバナンスにおける図書館の意義・役割を学修する。	対面(オンライン併用型)

知識情報サービスの構成

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE80801	情報サービス構成論	2.0	3・4	秋AB	金1, 2	大庭 一郎	レファレンスサービスは、図書館や情報サービス機関等において、情報を求めている利用者に対して、レファレンス担当者によって提供される人的援助である。現代の図書館では、各種のレファレンス資料を活用しながら、多様なレファレンスサービスを展開することが求められている。この講義では、広義のレファレンスサービスを対象として、レファレンスサービスの目的、構成、方法、各種情報源の利用法、参考調査図書館の組織と運営、等について総合的に解説する。	実務経験教員。対面
GE80901	コレクションとアクセス	2.0	3・4	秋AB	月1, 2	原 淳之	図書館におけるコレクション形成の意義と方法を、図書館資料の多様性とメディアとしての特質、資料選択に関わる理念と方針、収集と選択の方法、蓄積と保存と評価、出版制度と流通などの面から幅広く学ぶ。	対面
GE82802	PBL型図書館サービスプログラム開発	2.0	3・4	通年	応談	松村 敦, 武田 将季	WBS(Work Breakdown Structure)によってプロジェクトを構築し、図書館サービスプログラム(高齢者の認知症予防プログラムの)の提案企画書等を作成し、発表、相互評価を行う。	事前に受講説明会を開催しますので履修希望者は必ず参加してください。受講説明会後にTWINSへの履修登録が可能になります。知識学類生に限る。対面(オンライン併用型) 受講生は場合により、学研災付帯賠Aコースへの加入が必要

知識情報の社会化

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE81101	メディア教育の実践と評価	2.0	3・4	秋AB	木3, 4	鈴木 佳苗	メディアリテラシーの育成を中心に、国内外のメディア教育の現状と課題などについて概説する。	対面(オンライン併用型)

GE81201	学校図書館論	2.0	3・4	春AB	木3,4	小野 永貴	学校には必ず学校図書館が存在する。そして、学校図書館の専門的職務を担うのが司書教諭である。本科目は、司書教諭に関する導入科目として、学校図書館の世界を俯瞰的に理解し、理念と現実の両面から学校図書館を捉える。最終的には、学校図書館の活性化と効果的な教育実践に向けた提言ができるよう、経営的視点の素地を形成することを目標とする。	実務経験教員。対面(オンライン併用型) 対面5回+オンライン5回で実施。オンラインの回は原則的にリアルタイム型とするが、録画映像も公開する。対面の回も講義を収録し、来校できなかった者に向けて配信する予定。(学生の事情を考慮し部分的にオンデマンド受講を認める場合もある)
---------	--------	-----	-----	-----	------	-------	--	---

知識情報の規範

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE81301	情報法	2.0	3・4	春AB	金3,4	高良 幸哉	ネットワーク社会において新たに発生するようになった法的諸問題に接しながら、法律学の体系に関する主要な概念や法理に基づいて習得し、ネットワークにおいて現実に発生している諸問題の現状と法的対応について講義する。	対面(オンライン併用型)
GE81401	知的財産権論A	2.0	3・4	秋AB	木5,6	村井 麻衣子	ネットワーク社会における著作権を中心に、特許等の知的財産権全般について学ぶとともに、図書館活動や各種の情報活動の観点から、知的財産権が持つ意義について学ぶ。	対面(オンライン併用型) オンデマンドと同時双方向併用

図書館と書物の文化

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE81901	図書館文化史論	2.0	3・4				図書館の現在や未来を語る上で、図書館および記録メディアの歴史についての理解は不可欠である。本科目では、図書館とかかわりの深い記録メディアの歴史を理解するとともに、海外および日本の図書館の歴史的発展、またその文化的意義について学ぶ。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

アーカイブズ

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE82901	アーカイブズ資源	2.0	3・4	春AB	木5,6	村田 光司、 白井 哲哉、 パールィ シェフ エド ワルド	記録情報資源としてのアーカイブズの多様な媒体・形態やその歴史的な展開を、古代メソポタミアの粘土板から21世紀のボーン・デジタル記録に至るまで、世界各地の事例を通して論じる。また記録媒体に応じた保存管理・修復技術の特徴や、デジタル時代における記録保存の課題を学ぶ。	実務経験教員。対面
GE83001	アーカイブズ管理	2.0	3・4	秋AB	木1,2	パールィ シェフ エド ワルド、白井 哲哉、村田 光司	現代の情報社会において、記録情報資源であるアーカイブズの保存利用施設として設置された文書館の現状や、そこで働く専門的職員のアーキビストが日常的に取り組んでいる現状を学ぶ。また、アーカイブズの管理における理論と実践の発展、デジタル時代におけるその課題を学び、文書館、アーキビスト、アーカイブズ学に対する理解を深める。	実務経験教員。対面

解 説

履修のてびき

1. 履修要覧と履修に関する相談窓口

入学時に配布された「履修要覧」は卒業時まで保管してください。卒業や資格取得の条件は、入学年度（編入生は編入される学年の入学年度）の履修要覧に記載されたものが適用されます。「知識情報・図書館学類シラバス」は毎年4月にその年度用のものが配布されます。なお、2023年度から「開設授業科目一覧」は紙冊子版での配布をとりやめましたので、大学公式サイトまたはKdBの掲載内容を確認するようにしてください。また、科目番号や開講学期・曜時限、担当教員等が変わることもあるので、科目一覧やシラバスは必ず当該年度のものを参照してください。変更点はWeb掲示板でお知らせするとともにKdB（筑波大学教育課程編成支援システム：下記）にも反映されます。

<https://kdb.tsukuba.ac.jp>

卒業要件や資格に関する履修方法の相談（特に、規則に関して不明な点）は、学群教務が窓口です。先輩や同級生の体験談やうわさ話を鵜呑みにせず、わからないことはたとえ小さなことでも学群教務であなた自身が確認してください。卒業できなかつたり、資格が取得できなかつたりするのは、あなた自身です。

2. クラス制度とクラス担任の役割

本学類では1学年を4クラス（概ね20～30名）で編成します（2021年度以降は1年次のみ2クラス編成）。1年次は、春ABに「ファーストイヤーセミナー」、秋ABに「アカデミックスキルズ」と、クラス担任が担当する授業が年間を通じて開講されます。共に必修科目です。また、総合学域群から移行してきた学生に対してもクラスを編成し、2年次春ABに「アカデミックスキルズ」を開講します。

クラス担任からは履修・学習についての相談だけでなく、進路、生活など、さまざまな面で助けを得ることができます。2年次以降もクラス担任は原則として交替せず、あなたとの関係は卒業まで続きます。

3. 卒業要件と進級

授業を履修して合格の基準を満たすと所定の単位が与えられます。大学を卒業するためには、主専攻ごとに定められた「卒業に必要な履修科目および修得単位数」に基づいて、所定の単位数以上を修得しなければなりません。これを「卒業要件」と呼び、「卒業に必要な履修科目」を「卒業要件科目」と呼びます。本学では共通科目、関連科目、専門基礎科目、専門科目という4種類の区分ごとに、必修科目、選択科目というカテゴリに分けて、履修科目と修得単位数が指定されており、全ての条件を満たさなければなりません。本学類の卒業要件は情報学群履修細則（以下、細則）の別表1に定められています。詳しくは科目選択ガイドをご覧ください。なお、「教職に関する科目」※は本学類の卒業要件科目には含みません。

※：「教職に関する科目」とは、科目番号が90xxxx～98xxxxである科目群を指します。「教科に関する専門的事項」（「教科に関する科目」）は卒業要件科目に含みますが、「情報と職業」は科目番号が90xxxxですので、「教職に関する科目」とみなして卒業要件科目に含みません。

4. 単位と履修登録の上限

日本の大学では学習時間 45 時間に対して 1 単位が与えられます。本学では 75 分授業 10 回を 15 時間の学習時間と換算します。講義科目には授業時間と同じだけの予習と復習が必要と考え、予習 15 時間＋復習 15 時間で 30 時間の授業外学習が伴うことを前提に、75 分×10 回の講義科目に 1 単位が与えられます。

授業時間外での学生の十分な学習量を基礎として単位を認定することを制度上担保するため、1 年間に履修登録できる単位数に上限を設けています。このような制度は一般に「キャップ制」と呼ばれています。本学類では、授業外の学習が円滑に進むよう、予習範囲を明確化したり、復習のための課題を出したり等の工夫を教員に求め、これに併せてキャップ制も厳格に適用します（参考：囲み記事）。情報学群では年間の履修登録の上限を 45 単位と定めています。ただし、「教職に関する科目」（科目番号が 90xxxxx～98xxxxx である科目群）は登録単位数には含みません（細則 5 条 1 項）。修得単位数でなく登録単位数に対する制限なので、履修登録が確定した科目は、学期途中で履修放棄しても制限は緩和されません。前年度の成績が優秀であった人（前年度において卒業の要件として必要な単位を 40 単位以上修得し、その 70%以上が「A+」または「A」である人）は、55 単位まで履修登録できます（細則 5 条 2 項）。また、編入生は入学年度に限り 55 単位まで履修登録できます（細則 5 条 1 項）。

TWINS では上限を超えても登録できてしまうので、制限を自分自身でよく確認してください。年度初めに集中科目を含めた年間履修計画を作成して登録することをお勧めします。4 月に履修登録をしても、開始モジュールの履修申請締切日までは修正可能です。

本学類のカリキュラムでは、1 年次から 2 年次にかけて毎年 40 単位程度、3 年次に 30 単位、4 年次に卒業研究を含めて 14 単位を履修し、4 年間で卒業に必要な 124 単位以上を修得するようになっています。編入生は 55～65 単位程度を単位認定し、3 年次に 45 単位程度、4 年次に 14～24 単位程度を履修する設計です。本学類には進級や専攻選択の条件となる履修科目や単位数はありません。ただし、卒業要件科目を 90 単位以上修得していないと、卒業研究 A・B を履修できません。

Q. なぜこのような制限が必要なのですか？

A. 履修科目の予習・復習時間を十分にとるためです。上記で説明したように、2 単位の講義 1 科目に週 6 時間の授業外学習が期待されます。学習時間を確保するには制限が必要と考えられています。

Q. 知識情報・図書館学類だけが上限を設けているのですか？

A. 履修登録の上限は筑波大学全体のルールです。

Q. 上限を超えて履修登録するとどうなりますか？

A. 本学類では、超過申請している学生にメール連絡し登録の修正を促します。期日までに修正に応じない場合は学類が科目を選んで削除します。また、学年末時点で超過登録されていた場合、超過分の修得単位を除外する措置を講じます。たとえ単位を修得していても卒業要件には含まれません。

5. 成績評価と GPA

P/F で評価される「ファーストイヤーセミナー」「学問への誘い」「情報リテラシー（演習）」「国際学術演習 A」「国際学術演習 B」の 5 科目を除いて、各科目の成績は A+/A/B/C/D の 5 段階で評価されます。また、評語（A+/A/B/C/D）に代えて、評点による成績評価が示されることもあります（以下の換算表を参照）。A+から C には単位が与えられますが、D には単位が与えられません。成績証明書には D/F

の履修履歴は表示されません。なお、D/F となった科目は再履修できますが、一旦単位が与えられた科目を再履修することはできません。

評語	A+	A	B	C	D
評点	90 点以上	80～89 点	70～79 点	60～69 点	60 点未満

※評点は 100 点満点での目安。

成績をどのように評価するかは科目毎に異なります。科目によって確認テスト、レポート、小テスト、授業中の質問や発言による授業への貢献・参加など、授業の進め方や科目の特徴に応じたさまざまな評価を行います。評価方法はシラバスに示します。原則として 1/3 以上欠席した場合は不合格とされますが、出席日数の条件がより厳しい科目もあります。無断欠席は履修放棄とみなされることがあります。欠席届を提出すると、無断欠席でなくなりますが、出席にはなりません。

学生個人の総合的な学習到達度の評価として、筑波大学では GPA (Grade Point Average) と呼ばれる総合評価法を採用しています。GPA には、学期 GPA と累積 GPA があります。GPA は、成績が A+ の科目に 4.3 点、A に 4 点、B に 3 点、C に 2 点、D に 0 点の GP (Grade Point) を与え、その加重平均を求めたものです (式参照)。

知識情報・図書館学類では、GPA の除外科目を設定していませんが、「ファーストイヤーセミナー」のように P/F のみで評価される科目や他大学等で修得して認定された単位、「教職に関する科目」(科目番号が 90xxxxx～98xxxxx である科目群) のように卒業要件でない科目は GPA の算定に含めません。転学類生は、転学類前の履修科目も GPA の算定対象に含めます。

3 年次に行われる主専攻の選択では、2 年次末までの累積 GPA の高得点順に主専攻を決定します。GPA の低い人は希望する主専攻にすすめない場合があります。また、早期卒業の判定にも GPA が用いられます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{A+})\text{の単位数} \times 4.3 + \text{Aの単位数} \times 4 + \text{Bの単位数} \times 3 + \text{Cの単位数} \times 2 + \text{Dの単位数} \times 0}{\text{GPA対象科目の総履修登録単位数}}$$

なお、GPA は小数点第 2 位までとし、小数点第 3 位以下は切り捨てます。

6. 不正行為

確認テストにおいて不正行為を行った場合、当該科目または当該学期の全科目の受験が無効となります。また学則上の懲戒処分の対象となり、通常は停学処分が下されます。これらの処分により、卒業が遅れることになります。他人のレポートの複製や剽窃も、成績評価を偽るだけでなく、他人の著作権を侵す行為であり、本学類では確認テストにおける不正行為に準じて厳しく対応します。くれぐれも不正行為に関わらないように注意してください。

7. 成績不振者への指導

本学では卒業年度を除いて、年間の修得単位数が 15 単位未満の学生は学則により除籍処分となります。ただし「修学を指導することにより、翌年度に年間 15 単位以上修得することが可能と認められる」時に限り、学群長の特別の許可によって除籍が猶予されます。翌年度も 15 単位未満しか修得できなかった場合は無条件に除籍されます。

本学類は、クラス担任による早い段階での履修指導や生活指導を通じ、成績不振が起きないように努めますが、授業についてゆけない、勉強の方法がわからない、欠席が増えているなどの状況を自覚した時

には、自分から授業担当教員、クラス担任や学群教務・学生支援の窓口、総合相談窓口、学生相談室等に相談するなどしてください。成績不振が続く場合、保護者に対して単位の修得状況を通知し、進路の変更を含めた話し合いを行うよう促します。

8. 学生による授業評価

授業を理解するためには学生自身の学習態度がもっとも重要ですが、授業内容自体の充実・教授方法の工夫も重要な要素です。本学類では全ての学類開設科目について、学生による授業評価を実施しています。

授業評価は次年度以降の改善のために行うもので、TWINS を用いて定型の質問に選択式で回答する部分と自由記述から成り立っています（インターンシップ、国際インターンシップ、国際学術演習 A、国際学術演習 B、卒業研究 A および卒業研究 B は自由記述のみ）。授業に関する具体的な意見は自由記述で回答するようお願いします。授業評価は授業の最終週前後に実施し、学類 Web ページで集計結果を公表します。自由記述による意見は匿名化され、入力締切後に TWINS で各科目担当教員により参照が可能になることと併せて、学類長に一括して報告されます。

学類の教育水準を維持・向上させるためには、成績評価の厳格化と表裏一体に、学生からの意見・評価が不可欠です。評価に積極的に参加し、建設的な意見をお寄せください。受講中の授業に対する意見・希望があれば早い段階で担当教員に伝えて下さい。実施可能なものは当該学期の授業に反映させることもあり得ます。匿名希望の場合は学類長に申し出て下さい。

9. オフィスアワーと教員との連絡方法

本学では、学生が予約なしに教員を訪問できる時間帯を設けており、これをオフィスアワーとよんでいます。学習上の質問、種々の手続き、生活上の相談などにオフィスアワーを活用してください。オフィスアワー以外の時間帯に教員を訪問する場合は、電子メールなどで予約をとるようにしてください。

連絡事項や休講のお知らせは、TWINS 掲示板に掲載します。掲示板は毎日確認するように習慣づけてください。教員が学生への連絡に電子メールを使う場合は、全学計算機システムで発行される「s+学籍番号下7桁@u.tsukuba.ac.jp」（例えば s1234567@u.tsukuba.ac.jp）というメールアドレス宛に送信します。普段使うメールアドレスへの転送を設定するなどして、メールは確実に読むようにしてください。

教員にメールを送る際は、全学計算機システムあるいは本学類のメールシステム (Google Apps for klis) から送信してください。他システムからのメールは、送信者が本当に学生本人かが確認できないからです。また、本文中に学籍番号と氏名を明記してください。

10. 主専攻への配属

主専攻はあなた自身の希望と2年次までの成績をもとに3年次の4月に決定します。GPA の高得点順に第1希望の主専攻に配属されますが、主専攻の定員を超過した場合は、第2希望以降の主専攻に配属されます。主専攻の定員と主専攻別の卒論指導教員一覧は2年次の2月に公表します。

知識情報・図書館学類には、知識科学主専攻、知識情報システム主専攻、情報資源経営主専攻の三つの主専攻があります。

11. 卒業研究

卒業研究の指導教員は3年次の11月に仮決定します。学生は自分が所属する主専攻の指導教員一覧から希望する教員を選択します。学生は教員の指導方針を十分理解し、指導方針を受け入れる場合のみ応募できます。指導の前提条件に合致しない応募は無効です。応募者が定員を超えた場合、どの学生を受け入れるかは教員が判断します。3年次の4月に卒業要件科目を45単位未満しか単位を修得できていない場合、履修登録の上限があるので、翌年度に卒業研究着手に必要な90単位には到達不可能です。そのため、卒業研究指導教員の決定プロセスには参加できません。

卒業研究の準備（プレ卒研）は3年次12月から始めます。何をどのようにやるかは教員によりますが、単位にはなりません。授業科目としての卒業研究は2つの科目に分かれていますので、春学期と秋学期に開設される2科目（卒業研究A・B）を4年次の4月に履修登録します。卒業要件科目を90単位以上修得できていないと、その年度の卒業研究A・Bを履修できず、指導教員の決定も白紙に戻ります。

卒業研究は2022年度から学期単位で履修する学期完結科目になりました。卒業研究Aの単位修得のためには、着手発表を行う必要があります。卒業研究Bの単位修得のためには、着手発表、中間発表を経て、条件に合う卒業論文を提出した上で、最終発表を行う必要があります。卒業研究Aまたは卒業研究Bが修得できなかった場合、翌学期以降に再度履修し直すことができます。なお、原則として、学生は同一の指導教員のもとで通算1年間の卒業研究を行う必要があります。指導教員は変更できません。

卒業論文は電子版（PDF）で提出し、提出後は学類の定める閲覧場所で閲覧できるようにして永続的に保存します。また、卒業研究の抄録は学類のWebページ等で一般に広く公開します。

12. 早期卒業、大学院への推薦

2年次終了時点で以下の（1）～（3）のすべての条件を満たす人は早期卒業へのチャレンジ資格を得ます。

- （1）卒業要件として必要な単位を85単位以上修得していること
- （2）累積GPAが3.70以上であること
- （3）TOEFL iBTの得点が79点以上もしくはTOEIC（筑波大学で実施したTOEIC IPを含む）の得点が730点以上であること

早期卒業を希望する人は、3年次から卒業研究に着手し、秋学期末に卒業要件を満たし、卒業研究の内容が優秀であると認められた場合はその学期末に卒業できます（細則7条）。

早期卒業にチャレンジ中のひとと3年次秋C終了の時点でA/A+の割合が概ね70%以上の人は、大学院への推薦を受けることができます。3年次編入生のA/A+の割合は、学類から推薦者を決める際は編入後に本学で履修した科目だけで計算しますが、実際に出願する際は出願先の規定に則って計算します。

13. 外国語

共通科目の外国語としては英語が必修となっています。初修外国語は必修ではありませんが、国際化が進む中で英語以外の外国語の重要度が増していることを踏まえ、初修外国語を選択科目として履修することを強く推奨します。

共通科目の英語は、入学直後のプレイスメントテストの結果をもとに、受講クラスが指定されます。受講科目の評価がDであった人は、再履修しなければなりませんが、外国語の再履修には再履修者向けクラスを履修登録してください。詳細についてはグローバルコミュニケーション教育センター

(CEGLOC) サイト上の情報等を確認してください。

外国語の学習をさらに発展させたい人のために、2 年次以上を対象に、各国語の選択自由科目がグローバルコミュニケーション教育センター外国語教育部門によって開設されます。これらの科目は共通科目の選択科目として卒業要件に含めることができます。

また、学類開設の専門英語が、必修科目として 2 年次と 3 年次に開設されます。筑波大学では 3 年次を対象に 11 月頃に TOEIC IP を実施し、その受検を義務化していますが、3 年次秋 AB の専門英語 C では TOEIC IP のスコアを成績評価の判断材料とします。また、一部の専門科目では英語による授業を行うほか、学類共通の専門科目である「国際インターンシップ」では外国の図書館や情報センター等での就業体験の中で国際的なコミュニケーション力を養うことができます。

大学での単位修得だけでなく、TOEIC や TOEFL, IELTS, 英検など対外的に通用する語学能力検定を受検することもお勧めします。これらの検定は大学院入試で英語に代えて課されることが増えており、例えば情報学学位プログラム博士前期課程の入学試験でも、TOEIC, TOEFL, IELTS のうちいずれかのスコア提出が必要です(2024 年度現在)。また、米国留学にも TOEFL のスコアが必要です。高いスコアを持っていることは就職活動でも有利に働きますし、就職後に TOEIC の受検を求められることもあります。この種の試験は、現在の自分の実力を確かめ、着実に勉強を重ねることによって、数ヶ月後、一年後にスコアが改善していくものです。その意味で、早い時期から長期的に取り組むことをお勧めしています。

14. キャリア教育

本学類では、1 年次の必修科目「ファーストイヤーセミナー」の一部でキャリア教育に関する内容を扱います。3 年次では、専門科目(選択)として「インターンシップ」「国際インターンシップ」があります。「インターンシップ」では、図書館や企業などで 3 週間程度の就業実習を体験します。「国際インターンシップ」では、海外の図書館や情報センター等に 10 日間程度派遣します。

15. 司書資格

「図書館に関する科目」に指定されたうち 14 科目を履修することで司書の資格を取得できます。本学類のカリキュラムでは、2 年次までの専門基礎科目として 8 科目を修得し、3 年次以降で専門科目として 6 科目を修得するよう計画しています。専門科目は主専攻をまたがって開講されており、いずれの主専攻を選択しても、無理なく司書資格の取得が可能です。司書資格は公共図書館のための資格であり、他の館種では必須ではありませんが、図書館関係の専門職を目指す人には司書資格の取得を勧めます。

「インターンシップ」は選択科目ですが、司書を目指す人は就職先として希望する館種の図書館を実習先に選択して受講するよう強く勧めます。

16. 教員免許、司書教諭資格

本学類では所定の単位を修得することで社会(中学校)、公民(高校)、数学(中学校・高校)、情報(高校)の教育職員免許が取得できます。免許を得るためには、卒業のための単位と別に相当数の科目を余分に修得しなければならず、かなりの負担増になります。教員として就職するためには中学・高校両方の免許を持つ方が有利だと言われていますが、情報は高校の免許しかないので、社会(中学)あるいは数学(中学・高校)と組み合わせることを検討すると良いでしょう。ただし、情報の採用はさほど多く

なく、社会・公民の採用は激戦です。それでも教員をめざすつもりなのかどうか、よく考えてください。

「教職に関する科目」は標準履修年次が1年の科目は受講クラスが指定されますが、2年次以上の科目については、「〇〇に限る」等と明記されていない限り、どのクラスでも受講できます。「教育実習」と「教職実践演習」を除く「教職に関する科目」は1～3年次で全て修得するようにしてください。時間割などは可能な範囲で配慮しますが、学類としてそれ以上の便宜は図りません。教員免許取得は自己責任で行ってください。「教科に関する科目」で必修と指定されている科目は各区分における「一般的包括的な内容」を含む科目です。教育実習は4年生に実施します。現場での実習で得ることは多いのですが、卒業研究や就職活動と重なりますので、相当なハードワークになることを覚悟して臨んでください。なお、学類時間割（p.2～3）の欄外に教職関係科目の履修を想定した記述がありますが、あくまで参考にとどめ、自己責任で履修計画を立ててください。

教員免許に併せて、「大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目」5科目を修得することで、司書教諭資格が取得できます。3年次に5科目全てを履修し、4年次6月に司書教諭講習への書類参加（講習に代えて単位取得証明の提出によって司書教諭資格を得る手続き）を申請してください。履修が遅れて、手続きが在学中にできなかった人は、文部科学省の窓口で書類参加手続きを行うことができます。司書教諭資格のための5科目は、教員免許の「大学が独自に設定する科目」（「教科又は教職に関する科目」）に含めることができますし、同時に卒業要件上の他主専攻専門科目となります。教員免許を取得する場合は司書教諭の資格を同時に取得するよう勧めます。なお、所定の5科目を履修しても、教員免許を取得しないと司書教諭資格は取得できません。

17. 学芸員資格

「博物館に関する科目」に指定されたうち20単位を履修し、卒業後に博物館の学芸員職として就職することで学芸員の資格を得ることができます。つまり就職して初めて取得できる資格です。学芸員は博物館資料の収集・保管・展示および調査研究などに関する専門的職務を行う人であり、その職務には「博物館に関する科目」だけでなく、歴史、自然、美術など、博物館の種類に応じた分野ごとの専門的な主題知識こそが重要です。学芸員を目指そうとする人は、本学類の専門領域が一般的な博物館で求められる専門領域ではないことを十分認識し、どのような博物館での活躍が可能かなど、具体的な検討の上で資格取得をめざしてください。

18. テクニカルコミュニケーター専門課程

テクニカルコミュニケーター協会が指定する科目を18単位以上取得し、協会に申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を得ることができます。テクニカルコミュニケーターとは、製品やサービスに関して利用者が求める情報を正確にわかりやすく表現し、効果的に伝達するための基礎知識と技能を有する人のことを指します。司書や学芸員のような国家資格ではありませんが、本学類の科目を修得することでテクニカルコミュニケーター協会が認定する知識と技能を身につけると判断されます。

テクニカルコミュニケーター専門課程の修了証を取得するには、自ら申請しなければなりません。課程修了に必要なとされる単位を全て修得した後、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会に申請書類を提出してください。なお、必要とされる全ての単位を修得すれば申請できるので、卒業時まで待つ必要はありません。就職活動の日程も考慮に入れ、申請して下さい。修了認定手続きは、以下のページ

の「(学生向け) TC 専門課程修了認定申請」を参照して下さい。

(参考: <https://jtca.org/learn-tc/pro-program/>)

19. 留学

在学中に海外の協定校等に留学(交換留学)して、学類の専門教育の一部を修めることができます。学類長の許可を経た正式な留学は本学の在学年限に加算され、留学先で履修した単位は学類教育会議の議を経て卒業要件に算入できます。語学研修や異文化体験を目的とする留学の場合、長期休業中あるいは大学を休学して行いますが、在学年限に算入されず、単位も認定されません。留学を成功させるには十分な準備と計画が必要です。クラス担任に相談するとともに、スチューデントサポートセンター国際交流支援室による説明会や個別相談を活用してください(参考: <https://www.tsukuba.ac.jp/global/>)。学年途中からの留学によって科目の履修が中断した場合、復学後に当該科目の履修を再開できる場合があります(継続履修制度)。詳しくは学群教務にご相談ください。

筑波大学では海外への留学につながるさまざまなプログラムや授業が提供されています。留学を考えている人は学生支援やスチューデントサポートセンター国際交流支援室(参考: <https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ies-top>)で情報収集してください。留学とは異なりますが学類共通の専門科目である「国際インターンシップ」も国際的な経験を深める良い機会なので受講を検討してください。

20. 外国人留学生および帰国生徒

外国人留学生および「外国において相当の期間、中等教育を受けた学生」(帰国生徒)は、本人の英語や日本語の能力に応じて、共通科目の英語に代えて初修外国語または日本語の履修が認められることがあります。また、日本語の履修が共通科目外国語の選択科目として認められることがあります。教員による面接が必要ですので、必ず事前に学群教務の窓口にご相談してください。

21. 入学前に履修した単位・他大学で受講した単位の認定

入学前に履修した単位は、学類が教育上有益と認める場合、本学で履修した単位として 60 単位まで(編入学生は原則として 70 単位まで)を認定します。「本学で履修した単位として認定」とは、実際に受講することなく本学が開設した同等科目の単位を与えるという意味です。**単位認定の申請は入学直後の学期に**クラス担任と相談しながら行ってください。筑波大学入学後に履修した単位で単位認定できるのは、単位互換制度を結んでいる大学の単位のみです。なお、認定された単位は元の成績とは無関係に成績証明書では「認」とだけ表示され、GPA の計算には含まれません。

認定された単位は卒業要件には有効ですが、司書、司書教諭、教員免許などの資格取得やテクニカルコミュニケーター専門課程の修了認定に使うことはできません。ただし他大学において修得した司書資格科目と本学で修得した司書資格科目を合わせて資格を取得することはできます。例えば、他大学で司書科目の「図書館概論」相当の科目を修得している人は、資格取得のために本学の「図書館概論」を履修する必要はありません。

本学の科目を修得して資格取得などをを目指す人は、修得すべき科目で単位認定を受けないよう注意してください。単位認定を受けると修得済みとみなされ、その科目を履修できなくなります。一方、認定

を受けても、資格取得上は修得したとはみなされないので、結局資格を得ることはできません。

筑波大学の授業科目と対応づける際には、1対1だけでなく m 対 n (m, n は科目数) の組み合わせが可能です。ただし、実際に修得した以上の単位数は認定できないので、他学で m 科目の履修によって修得した合計単位数 k は、筑波大の対応する n 科目の合計単位数 l 以上でなければなりません ($k \geq l$)。

専門基礎科目の必修科目のうち知識情報概論、知識情報演習 I/II/III の4科目は本学類の学生が必ず受講する科目と位置づけており、単位認定は行いません。また、原則として専門科目の単位認定は行いません。ただし、「学校図書館論」を除く司書教諭科目4科目については、「大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目」に相当する単位を認定します。

また、総合学域群からの移行や転学類の際などに、本学類以外の修得科目の単位を本学類の卒業要件科目に読み替える場合がありますが、このようなケースでも、修得すべき科目で単位認定を受けないよう注意してください。単位認定を受けると修得済みとみなされ、その科目を履修できなくなります。一方、認定を受けても、資格取得上は修得したとはみなされないので、結局資格を得ることはできません。

22. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

知識情報・図書館学類では、情報学群の他の2学類（情報科学類、情報メディア創成学類）と共同して、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を開設しています（参考：<https://www.dsp.cs.tsukuba.ac.jp/>）。これは文部科学省が認定する数理・データサイエンス・AI 人材の育成に関わる専門的な教育プログラムで、学群共通科目と学類の専門基礎・専門科目のうち、要件科目に指定した以下の科目を学修すると、同教育プログラムの修了認定を取得できます。

要件科目（*は学類必修科目）：

- ・ 基礎科目群（5科目8単位）：線形代数A、微分積分A、情報リテラシー（講義）*、プログラミング入門A、知能と情報科学
- ・ 専門教育科目群（11科目32単位の中から2単位）：・データサイエンス*、ソフトウェアサイエンス実験A、情報システム実験A、知能情報メディア実験A、情報メディア実験A、ビジネスシステムデザイン基礎II、ソフトウェアサイエンス実験B、情報システム実験B、知能情報メディア実験B、情報メディア実験B、ビジネスシステムデザイン実践II

23. 必修科目の読み替え（2018年度以前入学者及び2020年度以前編入学者対象）

2021年度から3年次の必修科目、主専攻実習は学期単位の2科目開設に変更されました。各主専攻における主専攻実習科目を2021年度以降に履修しようとする学生は、下表の通り各学期に開設される1単位科目2つを履修することで当該科目の単位として読み替えます。

2020年度までの開設科目	2021年度以降に開設される読み替え科目
知識科学実習（2単位）	知識科学実習A（1単位）
	知識科学実習B（1単位）
知識情報システム実習（2単位）	知識情報システム実習A（1単位）

	知識情報システム実習 B (1 単位)
情報資源経営実習 (2 単位)	情報資源経営実習 A (1 単位)
	情報資源経営実習 B (1 単位)

24. 必修科目の読み替え (2019～2020 年度入学者及び 2021～2022 年度編入学者対象)

2021 年度からの教育課程の変更にもない、「プログラミング入門」は「プログラミング入門 A・B」の 2 科目開設に変更されました。2019～2020 年度入学者 (2021～2022 年度編入学者) が、2020 年度までに「プログラミング入門」の単位を修得していない場合、下表の通り対応する 2021 年度以降の開設科目を履修することで当該科目の単位として読み替えます。

2020 年度までの開設科目	2021 年度以降に開設される読み替え科目
プログラミング入門 (3 単位)	プログラミング入門 A (2 単位)
	プログラミング入門 B (1 単位)

25. 必修科目の読み替え (2019～2021 年度入学者及び 2021～2023 年度編入学者対象)

2022 年度からの教育課程の変更にもない、「卒業研究」は学期単位の 2 科目開設に変更されました。2019～2021 年度入学者 (2021～2023 年度編入学者) が、2021 年度までに「卒業研究」科目に着手していない場合、下表の通り対応する 2022 年度以降の開設科目を履修することで当該科目の単位として読み替えます。ただし、「卒業研究」に着手済みの者で春学期のみまたは秋学期のみでの卒業研究の修得を目指す場合は、読み替えを行わず、旧科目「卒業研究」を履修する必要があることに注意してください。

2021 年度までの開設科目	2022 年度以降に開設される読み替え科目
卒業研究 (6 単位)	卒業研究 A (3 単位)
	卒業研究 B (3 単位)

科目選択ガイド

1. 卒業要件の科目区分とクラス

本学類の卒業要件は「情報学群履修細則」の別表1に定められています。カリキュラムを学年の進行に沿って表すと表1の履修計画となります。履修計画では、1年次はほとんどが必修科目ですが、徐々に選択の幅が広がり、3年次にはほとんど全ての科目を自分で計画的に選択しなければなりません。卒業には最低124単位が必要です(2018年度以前入学者及び2020年度以前編入学者は125.5単位)。以下では基礎科目(共通科目と関連科目)、専門基礎科目、専門科目の順に履修の方法を説明しますが、その前に必修科目と選択科目の違いを理解しておきましょう。必修科目は必ず修得しなければならない科目、選択科目は特定の目的で開設される限られた科目の中から選んで履修する科目です。

本学類では専門基礎科目や専門科目として開設している科目群を、専門教育としての関連性を考慮し、クラスという単位にまとめています。クラス単位に履修することで、関連した内容を有機的かつ十分に学修できるようになっています。

本学類の開設科目名のハイフンに続くアラビア数字は同一科目の別クラスであることを示します。同一科目(たとえば、テキスト解釈-1とテキスト解釈-3)は重複して履修できません。また、一つの科目が複数の科目番号を持つ場合があります(たとえば、メディア社会学はGE21401とGC20101の2つの科目番号を持つ)が、備考欄に指示された科目番号(指示がなく、GEで始まる科目番号がある場合はGEで始まる科目番号)で履修してください。個々の科目が特定の主専攻の教育課程にとってどのような役割を持つか(卒業要件のどの区分にあてはまるか)は科目の内容自体で決まります。科目番号が複数あるからと言って、同じ内容を学んだのに、ある科目番号で履修すると専門基礎科目、別の科目番号で履修すると基礎科目のように卒業要件上の区分が選択できるというものではありません。

2. 基礎科目

基礎科目は幅広く深い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を涵養することをめざして設けられた区分で、大学生として共通に学ぶべき科目群である共通科目と学類ごとに内容を定める関連科目に分かれ、それぞれに修得単位数が定められています。共通科目の履修方法は全学で統一して定められています。

本学類の2019年度以降の入学者は共通科目の必修科目として、「ファーストイヤーセミナー」と「学問への誘い」各1単位、体育を2単位、外国語(英語)を4単位、情報を4単位の合計12単位修得することになっています。また、「ファーストイヤーセミナー」「学問への誘い」以外の総合科目から1単位以上選択して修得しなければなりません。総合科目の他、初修外国語、選択自由科目として開設される体育や外国語、芸術を選択科目として履修することができます。

共通科目の必修科目は学類・学年ごとに曜時限・クラスが指定されており、原則として変更できません。全学で共通科目の履修の仕方は共通していますので、履修に際しては、履修要覧と掲示を注意して読むようにして下さい。

3. 専門基礎科目

専門科目の前提として学んでおくべき基礎的な科目群を専門基礎科目といい、本学類では概ね1~2年次を対象に開設します。いずれの主専攻にも共通する基礎的内容です。12科目19単位の必修科目すべてと34科目62単位から32単位以上の選択科目を修得することが卒業の要件です。専門基礎科目の選択科目は、バランス良く多めの科目を履修するよう計画してください。

専門基礎科目のうち「知識と人間」クラスタの科目は知識科学主専攻の専門領域に関わる導入的な内容、「知識とシステム」クラスタの科目は知識情報システム主専攻の、「知識と社会」クラスタの科目は情報資源経営主専攻の導入的科目群です。2年次にはこれらの科目を学びながら、どの主専攻を志望するかを考えてください。

表 1a 標準履修年次に基づく履修計画（2019 年度以降入学用及び 2021 年度以降編入用）

区分		1 年		2 年		3 年		4 年		必要	
共通	必修	体育 総合科目 ファーストイヤーセミナー 学問への誘い 英語 情報 (計 11 単位)	1 1 1 4 4	体育 (計 1 単位)	1						12
								1			
	選択	総合科目 初修外国語	(4)								1～ 0～
関連		情報学群以外が開設する専門導入科目等	6								6～
専門基礎科目	必修	知識情報概論 アカデミックスキルズ プログラミング入門 A プログラミング入門 B 情報数学 A (計 5 科目 7 単位)	1 1 2 1 2	知識情報演習 I 知識情報演習 II 知識情報演習 III 専門英語 A1 専門英語 A2 哲学 統計 (計 7 科目 12 単位)	2 2 2 1 1 2 2						19
	選択	知識情報システム概説 図書館概論 線形代数 A 微分積分 A 情報科学概論 知能と情報科学 計算と情報科学 システムと情報科学 情報メディア入門 コンテンツ入門 (計 10 科目 14 単位)	1 2 2 2 1 1 1 1 1 2	情報社会と法制度 知的財産概論 情報数学 B 量的調査法 多変量解析 情報探索論 質的調査法 ユーザ研究実験法 情報行動論 知識発見基礎論 システム思考 知識資源組織化論 データベース概説 コンピュータシステムとネットワーク 機械学習 自然言語解析基礎 メディア社会学 生涯学習と図書館 公共経済学 経営・組織論 アーカイブズ基礎 テキスト解釈 映像メディア概論 知的探求の世界 I (計 24 科目 48 単位)	2 2	知的探求の世界 II	1			32～	
専門科目	必修					主専攻実習 A 主専攻実習 B 専門英語 B, 専門英語 C	1 1 1 1	卒業研究 A 卒業研究 B	6		10
	選択					自主専攻の専門科目 他主専攻・学類共通の専門科目				16 8	24～
合計		(必修 18 単位)	40	(必修 13 単位)	40	(必修 4 単位)	30	(必修 6 単位)	14		124

合計欄に示した単位数は卒業に向けて必要な最小限の単位数を各学年に割り振った目安です。上限 45 単位の範囲内で、実際には各学年でこれよりも多くの単位を修得するよう履修計画を立ててください。表示されている科目は 2022 年度の開設科目です。2021 年度以前の科目はこの表では省略しています。

表 1b 標準履修年次に基づく履修計画（2015～2018 年度入学者及び 2017 年度～2020 年度編入学者用）

区分	1 年		2 年		3 年		4 年		必要
共通	体育 総合 I 総合 II 第 1 外国語（英語） 第 2 外国語 （計 5 科目 15.5 単位）	1 2 5 4.5 3	1 体育 2 専門英語基礎演習 5（計 2 科目 2.5 単位）	1.5	総合 III	1			19～
専門基礎科目	必修	知識情報概論 哲学 情報基礎 情報基礎実習 プログラミング演習 I プログラミング演習 II 情報数学 統計 （計 8 科目 15 単位）	2 知識情報演習 I 2 知識情報演習 II 2 知識情報演習 III 1 専門英語 A 2（計 4 科目 7.5 単位）	2 2 2 1.5					22.5
	選択	情報社会と法制度 情報システム概説 基礎数学 A 図書館概論 （計 4 科目 8 単位）	2 基礎数学 B 2 情報数学 B 2 知的財産概論 2 量の調査法 多変量解析 情報探索論 質的調査法 ユーザ研究実験法 情報行動論 知識発見基礎論 システム思考 知識資源組織化論 データベース概説 コンピュータシステム とネットワーク 機械学習 自然言語解析基礎 メディア社会学 生涯学習と図書館 公共経済学 経営・組織論 アーカイブズ基礎 テキスト解釈 映像メディア概論 （計 23 科目 46 単位）	2 2					32～
	選択		知的探求の世界 I	1.5/ 2.0	知的探求の世界 II	1			0～
専門科目	必修				主専攻実習 専門英語 B, 専門英語 C	2 1 1	卒業研究 A 卒業研究 B	6	10
	選択				自主専攻の専門科目 他主専攻・学類共通の専門科目			20 8	30～
							知識情報特論	2	
合計	（必修 30.5 単位）	38.5	（必修 10 単位）	40	（必修 5 単位）	33	（必修 6 単位）	14	125.5

合計欄に示した単位数は卒業に向けて必要な最小限の単位数を各学年に割り振った目安です。上限 45 単位の範囲内で、実際には各学年でこれよりも多くの単位を修得するよう履修計画をたててください。

「知的探求の世界 I」「同 II」は、三つの狙いを持って開講されます。第一の狙いは、深い教養教育の機会の提供です。教養とは個人が社会と関わり、経験を積み、体系的な知識や知恵を獲得する過程で身につけるものの見方、考え方、価値観の総体です。知識情報・図書館学類は、多様なものの見方、考え方を学ぶ機会を提供していますが、それに対して、一つの主題領域を深く学ぶ過程を経験する機会として「知的探求の世界」を位置づけます。二つめの狙いは、カリキュラムの枠組みを超えた自由な学びの

場の提供です。本学類には人文学、社会科学、理工学など多様な専門領域を持つ教員が揃っています。その多様性を活かして、カリキュラムの構成とは別に、その枠を超えた自由な教育の場として、「知的探求の世界」を位置づけます。三つ目の狙いは、教員との長い、深い接触のもとで行われる少人数教育の提供です。教育には単なる知識の伝達を超えたものの見方、考え方、知恵、技といったものの伝承という側面もあります。師と弟子のような、しかし現代的な自由な関係の中での少人数教育として、「知的探求の世界」を位置づけます。

そのため、「知的探求の世界」は各教員がカリキュラムの枠を超えて自由に特定領域を設定し、内容も方法も全く自由に構成します。しかも、教員の講義を聞いて受動的に学ぶスタイルではなく、教員のガイドのもとに学生が自分で学ぶことを基本とします。例えば、その領域の古典の講読に集中する場合もあるでしょうし、入門から発展までの講読を体系的に進めることもあるかもしれません。演習を通じてある技術を深く習得する場合もあるでしょう。「知的探求の世界」は、2年次から1年半という長い期間をかけて継続的に、入門から一定の深さに至るまでの一貫した学習ができるようにします。しかし、卒業研究が始まるまでには終わり、卒業研究と並行して履修することはありません。また、卒業研究の指導と知的探求の世界の履修は連動しません。卒業研究の指導教員は、卒業研究指導教員の決定プロセスに従って定めます。結果的に同じ指導教員になることもあり得ます。「知的探求の世界Ⅰ」「同Ⅱ」は、万人向けの内容ではないので、科目の趣旨をよく考えて受講してください。

4. 専門科目

3年次に主専攻が決まると、自分が所属する主専攻の主専攻実習Aと主専攻実習Bを履修しなければなりません。また専門英語B（春AB）と専門英語C（秋AB）も必修科目です。

3～4年次には、自分の主専攻の専門科目を16単位（8科目）以上（2018年度以前入学者及び2020年度以前編入学者は20単位（10科目）以上）、他の主専攻の専門科目あるいは学群共通科目（専門科目）や学類共通の専門科目から合計して8単位（4科目）以上を修得してください。主専攻ごとに17科目前後の選択科目が開設されます。他主専攻の主専攻実習は他主専攻の専門科目の一つとして（実習の定員範囲内で）履修できます。卒業に必要な専門科目の大半は3年次に履修できるはずですが、4年次は卒業研究Aと卒業研究Bを必ず履修してください。4年次には多くの時間を卒業研究に使えるよう計画してください。

5. 自由に選択できる科目

卒業のために必要な124単位（2018年度以前入学者及び2020年度以前編入学者は125.5単位）のうち20単位（2018年度以前入学者及び2020年度以前編入学者は12単位）は、あなた自身の興味・目的に沿って自律的・計画的に学習できます。外国語の学習を深めても良いでしょう、あなたが興味を持っている他学類の専門領域を学んでも良いでしょう。本学類の専門領域を深く学ぶために専門科目や専門基礎科目を人よりも多く学ぶことも可能です。

共通科目のうち、3単位を超えて修得した総合科目、自由科目として開設される体育の単位なども、この自由に選択できる科目に含めることができます。関連科目については、博物館に関する科目、他学類の開設科目を含めることができます。一方、「教職に関する科目」（科目番号が90xxxx～98xxxxxである科目群）をこの自由に選択できる科目に含めることはできません。専門科目の選択科目、専門基礎科目の選択科目の必要単位数として示されている数値（それぞれ24単位と32単位）は、専門科目あるい

は専門基礎科目として修得すべき最小限の単位数であり、それとは別に自由に選択できる単位を専門科目、専門基礎科目、共通科目、関連科目の選択科目にそれぞれ配分して修得しなければならないことに留意してください。

なお、他学類の科目を履修する場合は、標準履修年次を尊重し、シラバス（他学類のシラバスは各学類の Web サイトで公開されています）で受講制限の有無や前提となる科目や知識等を良く確認してください。また初回の授業には必ず出席し、担当教員に受講の可否を確認することをお勧めします。一般に、基礎的な知識を持たずに専門性の高い科目を受講しても単位修得は困難ですし、授業形態によっては他の受講者の迷惑にもなります。

なお、2018 年度以前入学者及び 2020 年度以前編入学者は 12 単位分を履修する際、科目区分や科目ごとに卒業要件として認められる単位数の上限が決められています。たとえば、専門基礎科目の選択科目は 8 単位まで（合計で 40 単位まで）、専門科目の選択科目は 8 単位まで（合計で 38 単位まで）が卒業要件として認められます。したがって、他の区分の科目と合わせて、12 単位以上とする必要があります。専門基礎科目では、32 単位を超えて修得した選択科目と「知的探求の世界」を合計 8 単位まで自由に選択できる科目に含めることができます。また、専門科目では、2 単位を超えて履修した「知識情報特論」、20 単位を超えて履修した自主専攻の専門科目、8 単位を超えて履修した他主専攻や学群共通・学類共通の専門科目を合計 8 単位まで自由に選択できる科目に含めることができます。詳細は表 2 をご覧ください。

表 2 自由に選択できる科目の上限（2018 年度以前入学者及び 2020 年度編入学者対象）

区分	カテゴリ等	上限
共通科目	総合科目Ⅰ	12
	総合科目Ⅱ	
	総合科目Ⅲ	
	体育	
	国語	
	芸術	
	外国語	
関連科目	博物館に関する科目	12
	自由科目（特設）	
	他学類の開設科目	
専門基礎科目	選択科目	8
	知的探求の世界	
専門科目	知識情報特論	8
	自主専攻	
	他主専攻・共通	

卒業研究のてびき

卒業研究とその成果物

本学類では卒業研究は必修科目であり、学士の学位を取得して卒業するために必ず通過しなければならない関門です。それと同時に、卒業研究はみなさんが初めて取り組む研究活動であり、小さいながらも知識情報学分野の研究テーマに自律的に取り組んで、その方法論的基盤を獲得することを目標にしています。

その達成プロセスとして、研究の実施、卒業論文の作成、その成果の発表がみなさんに求められます。目標達成の証拠として、みなさんが提出しなければならないものは以下の3点です。

- a. 題目届
- b. 抄録（A4判1頁にまとめた研究成果の要旨）1部（PDF）
- c. 卒業論文1部（PDF）

いずれも様式と仕様が定められています。提出期限等の提出方法の詳細については別途公表します。

成績評価

卒業研究に対する成績評価は通常の科目と同様に A+から D の5段階でおこなわれます。評価の前提として、

- ・（卒業研究 A の場合）着手発表会で発表していること
- ・（卒業研究 B の場合）着手発表会、中間発表会、最終発表会で発表していること、卒業論文およびその抄録を指定日時までに提出していること

が必要です。

卒業研究 A の成績評価は、発表、研究過程、研究成果等を総合的に加味して指導教員が判断します。

卒業研究 B の成績評価にあたっては、まず合否判定が行われます。合否判定の第一段階は、最終発表会での発表に対して行われ、最終発表会に出席した主専攻担当教員および協力教員が「優れている」「十分」「不十分」の記名評価を行います。教員は以下の五つの判断基準のひとつ以上に該当すると判断した場合に「不十分」の判定を下します。

仕事 卒業研究として十分な作業量がない

課題 目的に対して、研究の位置づけや課題の設定に明らかな問題がある

手法 設定された課題に対して妥当な研究方法が選ばれていない

結果 結果の正確性、妥当性のいずれかに重大な疑問がある

論理 説明に飛躍や矛盾が多い

指導教員が「不十分」と判定した場合または3名以上の教員が「不十分」と判定した場合は再審査を実施します。再審査では、主専攻主任が指名する3名の教員（原則として、指導教員、不十分判定を下した教員、不十分以外の判定を下した教員）から構成される審査委員会が、提出された論文、最終発表会での発表内容、指導教員による当該研究過程の説明を踏まえて合否判定を行います。判断基準は同じく上記の5つです。

合否判定の結果や再審査の対象者名は学生には一切周知しません。再審査は学生を交えずに実施し、再発表や口頭試問を課すことなく合否を判断します。なお、再審査の結果、成績報告期限までに論文修正を求めることがあります。この場合、期限までに要求された修正が確認できれば合格、できなかった場合は不合格

（D）となります。合格者の成績（A+/A/B/C）は論文、最終発表、研究過程、再審査を経た場合は審査委員会での評価を総合的に加味して指導教員が判断します。

再審査における卒業論文の修正、査読に対する修正のいずれも電子版の卒業論文のみを更新する形で行いますが、許されるのはあくまで完成度を高めるための軽微な修正に限ります。自主的に修正する場合も同様です。

成果の公表

卒業論文はみなさん自身の研究成果ではありますが、指導教員や本学類の教育の成果でもあります。また、卒業研究は多くの先行研究を踏まえて行われ、それら研究成果が入手できなければ、みなさんの卒業研究の進捗に大きく影響したはずです。みなさんの研究成果を組織的に保存し、必要とする人の利用に供することは学類の理念を実践することであり、本学類を卒業するみなさんにとっては社会的な義務であるとも言えます。

そのため、本学類では次の二つの方法で成果の公表を行います。ひとつは抄録の公開です。抄録は、本学類に興味を持つ、あるいはみなさんの研究テーマに興味を持つ誰もがアクセスできるように、学類の Web ページおよびつくばレポジトリにて公開します。

第二は卒業論文本体の公表です。卒業研究をすすめるにあたって、同じ研究室の先輩の卒業論文を参考にした人は少なくないでしょう。公開されている抄録から別の研究室で自分のテーマに近い研究が行われていたことを発見し、その卒業論文を探した人もいるかもしれません。また、研究室を決めるときに、その研究室の卒業論文を読んでみたいと思うこともあるでしょう。知識情報・図書館学類では、みなさんが提出した卒業論文を永続的に保存し、図書館情報学図書館内からのみアクセスできるという制限をつけて閲覧に供することとしました。想定される主な利用者はみなさんの後輩である知識情報・図書館学類生です。

なお、これから雑誌論文として投稿する等、一時的に公表を避けなければいけない事情がある場合は、論文の公表を猶予することができます。指導教員とも相談の上、論文提出と同時に公表猶予申請書を提出してください。猶予期間は1年間です。抄録にはそのような制度を設けていません。抄録、卒業論文ともにみなさんの著作物ですが、これから卒業研究を行う後輩たちのために、また、学類の英知を結集するために、みなさんの貴重な研究成果が必要です。本学類はこのような理由に基づき、卒業研究の蓄積と公開・公表を行うという方針を採用しています。

研究倫理の遵守

卒業研究を実施するにあたっては、誠実で信頼性ある形で研究を進めるように心がけ、研究データの改ざんや文章の剽窃等、これまで以上に不正行為に留意するとともに、不明な点があれば、指導教員等に随時相談して研究を進めましょう。

なお、卒業研究の実施にあたっては、研究に協力してくれる人に依頼して、質問紙調査をしたり、インタビューや被験者実験などを行ったりする必要があることも考えられます。このような、人間又は人間の行動を対象とし、対象者の人格、人権、名誉及び健康に関わる研究並びに動物の使用を伴う研究には、担当教員の責任において、調査や実験前に必ず図書館情報メディア系における倫理審査の承認を得る必要があります。倫理審査の手続きには少なくとも10日程度かかりますので、時間に余裕をもって研究を進めるとともに、手続きの詳細は指導教員に確認するようにしてください。

資 料

○情報学群履修細則

〔平成 19 年 4 月 1 日〕
情報学群部局細則第 3 号

改正 平成 20 年情報学群部局細則第 1 号
平成 20 年情報学群部局細則第 2 号
平成 22 年情報学群部局細則第 1 号
平成 23 年情報学群部局細則第 1 号
平成 24 年情報学群部局細則第 1 号
平成 25 年情報学群部局細則第 1 号
平成 25 年情報学群部局細則第 2 号
平成 26 年情報学群部局細則第 1 号
平成 26 年情報学群部局細則第 2 号
平成 28 年情報学群部局細則第 1 号
平成 28 年情報学群部局細則第 2 号
平成 28 年情報学群部局細則第 3 号
平成 29 年情報学群部局細則第 1 号
平成 31 年情報学群部局細則第 1 号
令和 2 年情報学群部局細則第 1 号
令和 3 年情報学群部局細則第 1 号
令和 3 年情報学群部局細則第 2 号
令和 4 年情報学群部局細則第 1 号
令和 4 年情報学群部局細則第 5 号
令和 6 年情報学群部局細則第 1 号

情報学群履修細則

(趣旨)

第 1 条 この部局細則は、筑波大学学群学則（平成 16 年法人規則第 10 号。以下「学群学則」という。）第 1 条の 2 第 1 項、第 25 条、第 25 条の 2 第 2 項、第 28 条、第 31 条、第 33 条第 1 項、第 35 条第 3 項、第 39 条及び第 40 条の規定に基づき、情報学群における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的（次条において「人材養成目的」という。）、教育課程の編成及びその履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(人材養成目的)

第 1 条の 2 学群学則第 1 条の 2 第 1 項の規定に基づき、情報学群では、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動にかかわる様々な情報技術やその原理となる科学を理解し、それらを使いこなす「21 世紀の創造を担う人材」を養成する。また、科学的、技術的な側面だけでなく、人間の知的行動や社会的・文化的基盤についても十分な知見を身につけることを目指す。

2 各学類の人材養成目的は、次の表のとおりとする。

学 類	人材養成目的
-----	--------

情 報 科 学 類	現代社会の原動力である情報を収集・分析・理解・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成する。
情報メディア創成学類	これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などにおいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養成する。
知識情報・図書館学類	知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行う。これらの教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成する。

(主専攻分野)

第2条 学群学則第25条の部局細則で定める主専攻分野は、次の表のとおりとする。

学 類	主 専 攻 分 野
情 報 科 学 類	ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア
情報メディア創成学類	情報メディア創成
知識情報・図書館学類	知識科学、知識情報システム、情報資源経営

(履修方法)

第3条 学群学則第39条第1項の部局細則で定める情報学群における主専攻分野別の「専門科目」、「専門基礎科目」及び「基礎科目」ごとの卒業に必要な履修科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。

(主専攻分野の選択条件)

第4条 学群長は、学生の主専攻分野について、学生の希望を勘案し、入学した年次終了時以降に選考を行い、学類教育会議及び学群運営委員会の議を経て決定する。

(履修科目の登録の上限)

第5条 学群学則第33条第1項の部局細則で定める履修科目の登録の上限は、45単位とする。ただし、編入学を許可された者の履修科目の登録の上限は、入学した年に限り55単位とする。これらの場合において、「教職に関する科目」は、この単位数に含めない。

2 学群学則第33条第2項の部局細則で定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる場合の要件及び単位数は、次の表のとおりとする。

学 類	要 件	単位数
情 報 科 学 類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、その60%以上が「A+」又は「A」である者	55単位

	(2) 学類長が特別な事情があると認めた者	
情報メディア創成学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、履修申請を行った全科目の単位数(ただし教職に関する科目は除く)の60%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位
知識情報・図書館学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、その70%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位

(成績の評価)

第6条 学群学則第35条第3項の部局細則で定める合格及び不合格の評語を用いることができる授業科目は、「ファーストイヤーセミナー」、「情報リテラシー(演習)」、「学問への誘い」、「海外特別演習I」、「海外特別演習II」、「国際学術演習A」及び「国際学術演習B」とする。

2 学群のGPA制度における学期GPA及び累積GPAの対象から除かれる科目は、次の表のとおりとする。

学 類	学期GPA及び累積GPA対象除外科目
情 報 科 学 類	基礎科目-関連科目
情報メディア創成学類	基礎科目-関連科目
知識情報・図書館学類	なし

(早期卒業)

第7条 学群学則第40条に規定する早期卒業の対象者及び基準は、次の表のとおりとする。

学 類	対 象 者	基 準
情 報 科 学 類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を85単位以上修得し、かつ、成績が上位10%以内にある者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件として定められた所定単位を修得した者
情報メディア創成学類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を85単位以上修得し、その90%以上が「A+」又は「A」である者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件として定められた所定単位を修得すること。

知識情報・図書館学類	2年次終了時において以下の条件をすべて満たす者 (1) 卒業要件として必要な単位を85単位以上修得していること (2) 累積GPAが3.70以上であること (3) TOEFL iBTの得点が79点以上、もしくはTOEIC（筑波大学で実施したTOEIC IPを含む）の得点が730点以上であること	卒業研究の内容が優秀であると認められた者
------------	--	----------------------

（雑則）

第8条 この部局細則に定めるもののほか、主専攻分野の選択時期、卒業研究の選択及び提出時期その他学類における授業科目の履修に関し必要な事項は、学類教育会議の議を経て、学類長が定め、学内に公示するものとする。

附 則

この部局細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平20. 1. 16 情報学群部局細則1号）

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度入学者にあっては、この部局細則による改正後の別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平20. 4. 1 情報学群部局細則2号）

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平22. 2. 18 情報学群部局細則1号）

- 1 この部局細則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平23. 2. 17 情報学群部局細則1号）

- 1 この部局細則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平24. 2. 15 情報学群部局細則1号）

- 1 この部局細則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 5． 1． 1 6 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 5． 1 1． 1 3 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 5 年 7 月 1 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 2 4 年度以前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 6． 1． 1 5 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 6． 1 2． 2 4 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正前の筑波大学情報学群履修細則第 2 条の規定により、主専攻を情報経営・図書館とする者にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 2 条の規定により、主専攻を情報資源経営とする者とする。

附 則（平 2 8． 1． 2 7 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 8． 6． 8 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 8 年 6 月 8 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 6 条第 1 項の規定を除き、なお従前の例による。

附 則（平 2 8． 1 2． 6 情報学群部局細則 3 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 9． 1 2． 5 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 3 0 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 3 1. 1. 1 6 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 3 1 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（令 2. 1. 9 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 6 条第 1 項の規定を除き、なお従前の例による。

附 則（令 3. 1. 7 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（令 3. 1 2. 8 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、令和 4 年 5 月 1 3 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（令 4. 1. 6 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、令和 4 年 5 月 1 3 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 6 条第 1 項及び第 7 条の規定を除き、なお従前の例による。

附 則（令 4. 1 2. 1 4 情報学群部局細則 5 号）

- 1 この部局細則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 6 条第 1 項の規定を除き、なお従前の例による。

附 則（令 6. 1 2. 1 1 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第 6 条第 1 項の規定を除き、なお従前の例による。

(別表1 2022年度以降入学者・2024年度以降編入学者 対象)

(知識情報・図書館学類)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数											
専攻分野	専門科目			専門基礎科目			基礎科目				
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目
知識科学	卒業研究 A	3	GE 6 (知識科学実習を除く)	16～	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	1	—
	卒業研究 B	3	—	—	アカデミックスキルズ	1	GE 2	2	GE 2	2	—
	専門英語 B	1	—	—	プログラミング入門 A (情報学群または社会工学類開設)	2	GE 3	2	GE 3	2	—
	専門英語 C	1	GA 4	8～	プログラミング入門 B (情報学群または社会工学類開設)	1	—	—	—	—	—
	知識科学実習 A	1	GE 4	—	情報数学 A	2	—	—	—	—	—
	知識科学実習 B	1	GE 7	—	統計	2	—	—	—	—	—
	—	—	GE 8	—	哲学	2	—	—	—	—	—
	—	—	(GE 6 と共通開設の科目を除く)	—	専門英語 A 1	1	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	専門英語 A 2	1	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	知識情報演習 I	2	—	—	—	—	—
知識情報システム	単位合計	10	—	24～44	知識情報演習 II	2	—	—	—	—	—
	卒業研究 A	3	GE 7 (知識情報システム実習を除く)	16～	知識情報演習 III	2	—	—	—	—	—
	卒業研究 B	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	専門英語 B	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	専門英語 C	1	GA 4	8～	—	—	—	—	—	—	—
	知識情報システム実習 A	1	GE 4	—	—	—	—	—	—	—	—
	知識情報システム実習 B	1	GE 6	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	GE 8	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	(GE 7 と共通開設の科目を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位合計	10	—	24～44	—	—	—	—	—	—	—
合計				124				124			
				124				124			

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																		
主専攻分野	専門科目			専門基礎科目			基礎科目				科目			計		合計		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目		単位数	
情報資源経営	卒業研究 A	3	GE 8 (情報資源経営実習を3除く)	16～	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	卒業研究 B	3																
	専門英語 B	1																
	専門英語 C	1	GA 4	8～														
	情報資源経営実習 A	1	GE 4															
	情報資源経営実習 B	1	GE 6															
			GE 7															
			(GE 8 と共通開設の科目を除く)															
単位合計	10			24～44	0	19	32～52	0	12	1～21	0	0	0	0	41	83	0	124

2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。

3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。

4. 「総合科目」、「情報」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として

知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、必修科目の外国語(英語)に代えて初修外国語または日本語、選択科目の外国語として日本語の選択を認める。

[GA GR GC GF 共通科目 及不教職に関する科目以外に
相当する科目を履修しても、同一科目がGA GR GC GF 共通科目 新職に関する科目として開設されている場合はそれをGA GR GC GF 共通科目として開設され

教職に關する科目として修得した単位とみなす

「卒業研究A」 「卒業研究B」の修修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している（卒業に必要な主修得単位が34単位以下となっている）としてする

[illegible]

8. 総合字取群から移行した子生は埋工字群開設の「櫛形代敷」¹⁾、「櫛形代敷」²⁾、「櫛形代敷」³⁾を専門基礎科目選択科目とみなす。

(別表 1 2021年度入学者・2023年度編入学者対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数															
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目				科目		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目
知識科学	卒業研究	6	GE 6 (知識科学実習を除く)	16～	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	32～52	総合科目 (フレッシュマン・セミナー、学問への誘い)	2	総合科目 (学士基礎科目)	1～	必修科目	1	必修科目
	専門英語 B	1			アカデミックスキーズ	1	GE 2		情報	4	体育	0～	必修科目	41	必修科目
	専門英語 C	1			プログラミング入門 A (情報学群または社会工学類開設)	2	GE 3		外国語	2	外国語		必修科目	41	必修科目
	知識科学実習 A	1	GA 4	8～	プログラミング入門 B (情報学群または社会工学類開設)	1			外国語(英語)	4	芸術		必修科目	41	必修科目
	知識科学実習 B	1	GE 4		情報数学 A	2							必修科目	41	必修科目
			GE 7		統計	2							必修科目	41	必修科目
知識情報システム	卒業研究	6	GE 7 (知識情報システム実習を除く)	16～	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	32～52	総合科目 (フレッシュマン・セミナー、学問への誘い)	2	総合科目 (学士基礎科目)	1～	必修科目	1	必修科目
	専門英語 B	1			アカデミックスキーズ	1	GE 2		情報	4	体育	0～	必修科目	41	必修科目
	専門英語 C	1			プログラミング入門 A (情報学群または社会工学類開設)	2	GE 3		外国語	2	外国語		必修科目	41	必修科目
	知識情報システム実習 A	1	GA 4	8～	プログラミング入門 B (情報学群または社会工学類開設)	1			外国語(英語)	4	芸術		必修科目	41	必修科目
	知識情報システム実習 B	1	GE 4		情報数学 A	2							必修科目	41	必修科目
			GE 6		統計	2							必修科目	41	必修科目
単位合計															
124															

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																						
主専攻分野	専門科目			専門基礎科目			基礎科目					科目関連科目		計		合計						
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目		単位数					
																		必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目
情報資源経営	卒業研究	6	GE 8 (情報資源経営実習を1除く)	16～	—	—	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	32～52	—	—	—	—	—	—	0					
	専門英語 B	1			1	1	アカデミックスキルズ	1	GE 2													
	専門英語 C	1			2	2	プログラミング入門 A (情報学群または社会工学類開設)	2	GE 3													
	情報資源経営実習 A	1	GA 4	8～																		
	情報資源経営実習 B	1	GE 4			1	プログラミング入門 B (情報学群または社会工学類開設)	1														
			GE 6																			
			GE 7			2	情報数学 A	2														
			(GE 8 と共通開設の科目を除く)			2	統計	2														
						2	哲学	2														
						1	専門英語 A 1	1														
					1	専門英語 A 2	1															
					2	知識情報演習 I	2															
					2	知識情報演習 II	2															
					2	知識情報演習 III	2															
単位合計	10			24～44	0			19		32～52	0			12	1～21	0	0	0	41	83	0	124

2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。

3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。

4. 「総合科目」、「情報」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものうちから、「基礎科目（共通科目）の履修方法」に従って履修する。

5. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、必修科目の外国語（英語）に代えて初修外国語または日本語、選択科目の外国語として日本語の選択を認めることがある。

6. 「GA、GB、GC、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外」に該当する科目番号で履修しても、同一科目がGA、GB、GC、GE、共通科目、GA、GB、GC、GE、共通科目、教職に関する科目として開設されている場合は、それをGA、GB、GC、GE、共通科目、GA、GB、GC、GE、共通科目、教職に関する科目として修得した単位とみなす。

7. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している（卒業に必要な未修得単位が34単位以下となっている）こととする。

8. 総合学域群から移行した学生は、理工学群開設の「線形代数1」、「微積分1」、「線形代数2」、「微積分2」、「微積分3」を専門基礎科目選択科目とみなす。

(別表 1 2019～2020年度入学者・2021～2022年度編入学者対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																						
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目								計		合計			
	科目				科目				共通科目				関連科目				科目					
	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	必修科目 単位数	選択科目 単位数		自由科目 単位数		
知識科学	卒業研究	GE 6 (知識科学実習を除く)	16～	—	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	32～52	—	総合科目 (フレクシブル・セミナール、学期への誘い)	2	総合科目 (フレクシブル・セミナール、学期への誘いを除く)	1～	—	—	GA、G B、G C、G E、共通科目、及び教職に関する科目以外	6～	—	41	83	0	124
	専門英語B				アカデミックスキルズ	1																
	専門英語C				プログラミング入門 (情報学群または社会工学類開設)	3	GE 2															
	知識科学実習A			8～			GE 3															
	知識科学実習B				情報数学A	2																
					統計	2																
					哲学	2																
知識情報システム					専門英語A1	1																
					専門英語A2	1																
					知識情報演習Ⅰ	2																
					知識情報演習Ⅱ	2																
					知識情報演習Ⅲ	2																
	単位合計	10	24～44	0	19	32～52	0	12	1～21	0	0	6～26	0	41	83	0	124					
	知識情報システム	卒業研究	GE 7 (知識情報システム実習を除く)	16～	—	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	32～52	—	総合科目 (フレクシブル・セミナール、学期への誘い)	2	総合科目 (フレクシブル・セミナール、学期への誘いを除く)	1～	—	—	GA、G B、G C、G E、共通科目、及び教職に関する科目以外	6～	—	41	83	0
専門英語B					アカデミックスキルズ	1																
専門英語C					プログラミング入門 (情報学群または社会工学類開設)	3	GE 2															
知識情報システム実習A				8～			GE 3															
知識情報システム実習B					情報数学A	2																
					統計	2																
					哲学	2																
知識情報システム					専門英語A1	1																
					専門英語A2	1																
					知識情報演習Ⅰ	2																
					知識情報演習Ⅱ	2																
					知識情報演習Ⅲ	2																
	単位合計	10	24～44	0	19	32～52	0	12	1～21	0	0	6～26	0	41	83	0	124					

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																				
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目				関連科目				計		合計	
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目			
情報資源経営	卒業研究	6	GE 8 (情報資源経営実習を除く)	16～	—	知識情報概論	1	GA 1 (必修科目に指定した科目を除く)	32～52	—	総合科目 (フレキシブル・セミナー・学問への誘い)	2	1～	—	—	GA、G B、G C、 GE、共通 科目、及び 教職に關す る科目以外	—	0	124	
	専門英語 B	1				アカデミックスキルズ	1	GE 2			総合科目 (フレキシブル・セミナー・学問への誘い)	2	—	—	—			83		
	専門英語 C	1				プログラミング入門 (情報学群または社会工学群開設)	3	GE 3					—	—	—			41		
	情報資源経営実習 A	1	GA 4	8～		情報数学 A	2				情報	4	0～							
	情報資源経営実習 B	1	GE 4 GE 6 GE 7 (GE 8 と共通開設の科目を除く)			統計	2				体育	2	0～							
						哲学	2				外国語 (英語)	4								
単位合計		10		24～44	0		19		32～52	0			12	1～21	0	0	6～26	0	83	124

(注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。

2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。

3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。

4. 「総合科目」、「情報」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものの中から、「基礎科目 (共通科目) の履修方法」に従って履修する。

5. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、必修科目の外国語 (英語) に代えて初修外国語または日本語、選択科目の外国語として日本語の選択を認めることがある。

6. 「GA、GB、GC、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外」に該当する科目番号で履修しても、同一科目がGA、GB、GC、GE、共通科目、教職に関する科目として開設されている場合は、それをGA、GB、GC、GE、共通科目、教職に関する科目として修得した単位とみなす

7. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している (卒業に必要な未修得単位が34単位以下となっている) こととする (早期卒業希望者を除く)。

(別表 1 2016～2018 年度入学者・2018～2020 年度編入学者対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																						
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				共通科目				関連科目				計			合計		
	必修科目数	選択科目数	単位数	自由科目数	必修科目数	選択科目数	単位数	自由科目数	必修科目数	選択科目数	単位数	自由科目数	必修科目数	選択科目数	単位数	自由科目数	必修科目数	選択科目数	単位数			
知識科学	卒業研究	6	GE 6	20～28	—	情報基礎	2	GA 1 GE 2	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレキシブル・セミナーを含む)	2	総合科目ⅠⅡ 総合科目Ⅲ	0～12	—	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	0～12	74	0	125.5	
	専門英語B	1				情報基礎実習	1															
	専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2															
	知識科学実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2															
						情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅱ	5	体育									
						統計	2				総合科目Ⅲ	1	外国語									
						哲学	2				体育	2	外国語									
						知識情報概論	2				第1外国語 (英語)	6	芸術									
						専門英語A	1.5				第2外国語 (初修外国語)	3										
						知識情報特論	2															
知識情報システム	単位合計	10		30～38	0		22.5		32～40	0		19		0～12	0	0						125.5
	卒業研究	6	GE 7	20～28	—	情報基礎	2	GA 1 GE 2	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレキシブル・セミナーを含む)	2	総合科目ⅠⅡ 総合科目Ⅲ	0～12	—	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	0～12	74	0	125.5	
	専門英語B	1				情報基礎実習	1															
	専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2															
	知識情報システム実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2															
						情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅱ	5	体育									
						統計	2				総合科目Ⅲ	1	外国語									
						哲学	2				体育	2	外国語									
						知識情報概論	2				第1外国語 (英語)	6	芸術									
						専門英語A	1.5				第2外国語 (初修外国語)	3										
					知識情報特論	2																
単位合計	10		30～38	0		22.5		32～40	0		19		0～12	0	0						125.5	

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																						
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目								合計		合計			
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	共通科目				関連科目							
											必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数		選択科目	単位数	自由科目
情報資源経営実習	卒業研究	6	GE 8	20～28	—	—	情報基礎	2	GA 1	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セミナーを含む)	2	総合科目Ⅰ	0～12	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	—	51.5	74	0	125.5
	専門英語B	1					情報基礎実習	1	GE 2			総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	—	—						
	専門英語C	1					プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	—	—						
	情報資源経営実習	2					プログラミング演習Ⅱ	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅳ	2	総合科目Ⅳ	—	—						
							情報数学	2				総合科目Ⅴ	2	総合科目Ⅴ	—	—						
							統計	2				総合科目Ⅵ	2	総合科目Ⅵ	—	—						
							哲学	2				総合科目Ⅶ	6	総合科目Ⅶ	—	—						
							知識情報概論	2				第1外国語(英語)	3	第1外国語(英語)	—	—						
							専門英語A	1.5				第2外国語(初修外国語)	3	第2外国語(初修外国語)	—	—						
							知識情報演習Ⅰ	2														
						知識情報演習Ⅱ	2															
						知識情報演習Ⅲ	2															
単位合計	10			30～38	0	22.5				32～40	0		19		0～12	0	0		51.5	74	0	125.5

- (注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものうちから、「基礎科目（共通科目）の履修方法」に従って履修する。
5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計5単位を必修とする。
6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「専門英語A」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。
- 専門英語A 1単位
7. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第1外国語として英語以外の外国語の選択を認めることがある。
- 外国語として「日本語」が認められた場合の第1外国語の卒業に必要な修得単位数は、4.5単位とする。
8. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第2外国語又は外国語として「日本語」の選択を認めることがある。
9. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している（卒業に必要な未修得単位数が35.5単位以下となっている）こととする。

教職課程（教科に関する専門的事項）

情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 （開設学群・学類）	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社 会	日本史及び外国史	1 以上	日本史	（比較文化学類開設） ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ（2科目セット） （日本語・日本文化学類開設） 共生のための歴史学	
			外国史	（比較文化学類開設） ◎欧米研究概論， ◎ <u>アジア研究概論</u> （日本語・日本文化学類開設） ◎ <u>東洋の歴史と文化</u> （知識情報・図書館学類開設） 図書館文化史論	下線2科目 から1科目 選択必修
	地理学（地誌を含む。）	1 以上	地理学（地誌を含む。）	（地球学類開設） ◎人文地理学， ◎地誌学	
	「法学，政治学」	1 以上	「法学，政治学」	（知識情報・図書館学類開設） ◎情報法， 知的財産権論A	
	「社会学，経済学」	1 以上	「社会学，経済学」	（知識情報・図書館学類開設） ◎メディア社会学， 量的調査法， メディア技術と文化， 質的調査法， 情報行動論， 経営・組織論	
	「哲学，倫理学，宗教学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学」	（知識情報・図書館学類開設） ◎哲学， 知識論	
合 計 （中学一種）		2 0			

- （注） 1. 教科に関する専門的事項の欄中，（ ）内のものは必ず含めて修得しなければならない。
2. 教科に関する専門的事項の欄中，○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
3. 教科に関する専門的事項の欄中，「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
4. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公 民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法， 知的財産権論 A	
	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学， 量的調査法， メディア技術と文化， 質的調査法， 情報行動論， 経営・組織論	
	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学， 知識論， メディア教育の実践と評価	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
2. 教科に関する専門的事項の欄中，「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数 学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(情報学群開設) ◎線形代数A, 情報数学A (知識情報・図書館学類開設) ◎情報数学B	下線 2 科 目 から 1 科 目 選 択 必 修
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG基礎, 情報数学C	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(情報学群開設) ◎微分積分A (情報科学類開設) ◎微分積分B, 数値計算法, 微分方程式	下線 2 科 目 から 1 科 目 選 択 必 修
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎統計, 多変量解析, 機械学習	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュ ータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク, 情報検索システム, データベース概説, Web プログラミング	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは 1 科目以上にわたり修得すればよい。
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類【令和5(2023)年度以前入学者対象】

免許 教科 科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1 以上	コンピュータ 及び情報処理 (実習を含む。)	(情報学群開設) ◎プログラミング入門A, プログラミング入門B (知識情報・図書館学類開設) データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム(実習を含む。)	1 以上	情報システム (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム, データベース概説, 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1 以上	情報通信ネット ワーク(実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎Webプログラミング	
	マルチメディア表現 及び技術(実習を含む。)	1 以上	マルチメディア 表現及び技術(実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎マルチメディアシステム, デジタルドキュメント, 情報デザインとインタフェース, マークアップ言語	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず修得しなければならない。
2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○・○○とあるものは両科目修得しなければならない。
3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類【令和6(2024)年度以降入学者対象】

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会（職業に関する内容を含む。）・ 情報倫理	1 以上	情報社会（職業に関する内容を含む。）・ 情報倫理	（情報学群開設） ◎情報社会と法制度， 知的財産概論 （知識情報・図書館学類開設） インターンシップ	
	コンピュータ・情報 処理	1 以上	コンピュ ータ・情報処理	（情報学群開設） ◎プログラミング入門A， プログラミング入門B （知識情報・図書館学類開設） データ表現と処理， コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム	1 以上	情報システム	（知識情報・図書館学類開設） ◎情報検索システム， データベース概説， 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワー ク	1 以上	情報通信ネッ トワーク	（知識情報・図書館学類開設） ◎Web プログラミング	
	マルチメディア表現 及び技術	1 以上	マルチメディ ア表現及び技 術	（知識情報・図書館学類開設） ◎マルチメディアシステム， デジタルドキュメント， 情報デザインとインタフェース， マークアップ言語	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，() 内のものは必ず修得しなければならない。
2. 教科に関する専門的事項の欄中，○○・○○とあるものは両科目修得しなければならない。
3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

大学において修得すべき図書館に関する科目

区分	図書館法施行規則に定める科目		本学における開設授業科目			備考
	科目	単位数	授業科目	単位数	開設学群・学類等	
甲群 必修 11科目・ 22単位	生涯学習概論	2	生涯学習と図書館	2	知識情報・図書館学類	
	図書館概論	2	図書館概論（2019年度～）	2	情報学群	
			図書館概論（～2018年度）	2		
	図書館制度・経営論	2	パブリックガバナンス	2		
	図書館情報技術論	2	コンピュータシステムとネットワーク（2019年度～）	2		
			情報基礎（～2018年度）	2		
	図書館サービス概論	2	情報サービス経営論	2		
	情報サービス論	2	情報探索論 情報サービス構成論	2 2		いずれか 1科目選択
	児童サービス論	2	読書と豊かな人間性	2		
	情報サービス演習	2	知識情報演習Ⅱ（2019年度～）	2		
			知識情報演習Ⅱ（～2018年度） 情報基礎実習（～2018年度）	2 1		2科目を 履修
	図書館情報資源概論	2	コレクションとアクセス	2		
	情報資源組織論	2	知識資源組織化論	2		
	情報資源組織演習	2	知識情報演習Ⅰ 知識情報演習Ⅲ	2 2	知識情報・図書館学類	2科目を 履修
乙群 選択 2科目・ 2単位以上	図書館基礎特論	1	図書館論（～2022年度）	2		いずれか 1科目選択
			学術情報基盤論（2019年度～）	2		
			データベース概説（2022年度～）	2		
	図書館サービス特論	1	デジタルライブラリ 情報サービスシステム（2019年度～）	2 2		いずれか 1科目選択
	図書館情報資源特論	1	日本図書館学（～2023年度）	2		いずれか 1科目選択
			知識資源の分類と索引（2021年度～）	2		
			知識資源の分析（～2018年度） 知識形成論（2019年度～） 学術メディア論 デジタルドキュメント	2 2 2 2		
	図書・図書館史	1	図書館文化史論	2		
	図書館施設論	1	図書館建築論	2		
	図書館実習	1	インターンシップ	2		

（備考）司書資格を取得した者には「資格取得証明書」を発行します。卒業後に教育推進課に申し込んでください。

他学で修得した単位と合算して司書資格を取得する場合は、本学で修得した図書館に関する科目について「単位修得証明書」を発行します。

大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目		本学における開設授業科目			備考
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	開設学類	
学校経営と学校図書館	2	学校図書館論	2	知識情報・ 図書館学類	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2		
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2		
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2		
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2		

(備考)

司書教諭の資格を得るためには教育職員免許を取得する必要があります。

司書教諭講習に相当する科目として修得した単位は、各学群の履修細則の定めるところにより、卒業要件の単位として算入できます。

司書教諭の資格を取得するためには、司書教諭講習に相当する科目を全て修得した後に、学校図書館法第5条第3項の規定に基づく「学校図書館司書教諭講習」に、書類参加の手続きが必要です。手続方法については、掲示でお知らせします。

大学が単位を与える学修一覧

検 定 名	対象となる級等	認定対象科目
(財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定	1 級・準1級	English Presentation Skills I, II (2.0単位) ※注1
TOEFL ペーパー版テストの点数	550点以上	
コンピュータ版テスト	213点以上	
インターネット版TOEFL	79点以上	
TOEIC	730点以上	
IELTS	6.0以上	
(財)ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定	1 級・準1 級・2 級・3 級	基礎ドイツ語AI, AII (2.0単位)
ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験	Goethe-Zertifikat B1以上並びにTestDaf	
(財)フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定	1 級・準1 級・2 級・3 級	基礎フランス語AI, AII (2.0単位)
ロシア語検定試験実行委員会が実施するロシア語検定試験	第4・第3・第2・第1・基礎	基礎ロシア語AI, AII (2.0単位)
(財)日本スペイン協会が実施するスペイン語技能検定	1級・2 級・3 級・4 級・5 級	基礎スペイン語AI, AII (2.0単位)

- (注) 1 実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTSは、いずれか1つの試験についてのみに認定する。
2 この表に掲げるもののほか、専門基礎科目及び専門科目として認定する単位は、45時間の学修をもって換算する単位とする。
3 共通科目等開設組織等において定める基準を最低の基準とし、それ以上の基準により各学類・専門学群において与えることができる単位を表す。
4 ロシア語検定における認定の基準は、検定試験結果の基礎レベル以上とする。
(第4レベル、第3レベル、第2レベル、第1レベル、基礎レベル)

テクニカルコミュニケーター専門課程に対応した開設科目一覧

TC 専門課程における分野		知識情報・図書館学類における開設科目	
知能と能力の分野	単位数	科目名	単位数
TC 基礎	2	テクニカルコミュニケーション	2
情報収集と分析	2	量的調査法	2
		質的調査法	2
企画・設計	2	知識発見基礎論	2
		ユーザ研究実験法（2022年度～）	2
情報アーキテクチャー	2	情報基礎（～2018年度）	2
		情報リテラシー（講義）（2019年度～）	1
		情報システム概説（～2018年度）	2
		知識情報システム概説（2019年度～）	1
		コンピュータシステムとネットワーク（2019年度～）	2
		デジタルドキュメント	2
制作管理・ディレクション	2	知識科学実習（～2020年度）	2
		知識科学実習 A（2021年度～）	1
		知識科学実習 B（2021年度～）	1
		知識情報システム実習（～2020年度）	2
		知識情報システム実習 A（2021年度～）	1
		知識情報システム実習 B（2021年度～）	1
		情報資源経営実習（～2020年度）	2
		情報資源経営実習 A（2021年度～）	1
		情報資源経営実習 B（2021年度～）	1
デザイン・表現設計	2	知識情報演習 II	2
		情報デザインとインタフェース	2
		デジタルクリエイティブ基礎（2018年度～）	1
ライティング	2	情報基礎実習（～2018年度）	1
		情報リテラシー（演習）（2019年度～）	1
		情報リテラシ実習（～2018年度）	1
		アカデミックスキルズ（2019年度～）	1
		卒業研究（2019～2021年度）	6
		卒業研究 A（2022年度～）	3
		卒業研究 B（2022年度～）	3
英文ライティング	2	専門英語 B	1
		専門英語 C	1
周辺分野	2	知的財産概論	2
		知的財産権論 A（2019年度～）	2
		情報社会と法制度（2019年度～）	2
		情報法（2019年度～）	2
		国際インターンシップ	2

テクニカルコミュニケーター専門課程は複数の分野から構成されており、上の表には、各分野に対応する知識情報・図書館学類の開設科目が示してあります。各分野の必要単位数を充足するよう表中の18単位以上の開

設科目を履修し、協会に申請することで、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定証を得ることができます。

索 引

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
1	いけうち あつし 池内 淳	Ikeuchi Atsushi	准教授	7D413	atsushi@slis	知識情報演習II-2 学校図書館メディアの構成 情報サービス経営論	3-3担任
2	いとう ひろよし 伊藤 寛祥	Ito Hiroyoshi	助教	7D501	ito@slis	情報数学A データ構造とアルゴリズム	(総合3類 クラス担 任)
3	うだ のりひこ 宇陀 則彦	Uda Norihiko	教授	情報学学位 プログラム リーダー室	uda@slis	知識情報概論 デジタルライブラリ	
4	おおさわ ふみと 大澤 文人	Osawa Fumito	助教	7D115	osawa@slis	多変量解析 情報メディアの活用 マルチメディアシステム インターンシップ	
5	おおば いちろう 大庭 一郎	Ohba Ichiro	講師	7D113	iohba@slis	経営・組織論 情報サービス構成論	
6	おの はるき 小野 永貴	Ono Haruki	助教	7D114	milkya@slis	学校図書館論 学習指導と学校図書館	
7	かとう まこと 加藤 誠	Kato Makoto	准教授	7D308	mpkato@slis	微分積分A 知識情報演習III-2	
8	きむ せんきよう 金 宣経	Kim Sunkyoung	助教	7D315	kimsun@slis	線形代数A Human-computer Interaction	
9	こいずみ まさのり 小泉 公乃	Koizumi Masanori	准教授	7D310	koizumi@slis	知識情報演習III-1 専門英語C-3 パブリックガバナンス	(総合1類 クラス担 任)
10	さかぐち てつお 阪口 哲男	Sakaguchi Tetsuo	准教授	7D312	saka@slis	知識情報システム概説 知識情報演習I-1 コンピュータシステムとネットワーク Webプログラミング 知的探求の世界II-5	2-2担任
11	じょうほ ひでお 上保 秀夫	Joho Hideo	教授	7D408	hideo@slis	知識情報演習III-1 ユーザ研究実験法 Human Information Interaction	
12	しらい てつや 白井 哲哉	Shirai Tetsuya	教授	7D407	tetsushi@slis	テキスト解釈-I アーカイブズ基礎 アーカイブズ資源 アーカイブズ管理	2-1担任*
13	すずき かなえ 鈴木 佳苗	Suzuki Kanae	教授	7D112	kanae@slis	読書と豊かな人間性 メディア教育の実践と評価 国際インターンシップ	
14	すずき のぶたか 鈴木 伸崇	Suzuki Nobutaka	教授	学類長室	nsuzuki@slis	情報リテラシー(演習) 知識情報システム概説 知識情報演習I-2 データベース概説 体験型システム開発A, B	学類長
15	せき ようへい 関 洋平	Seki Yohei	教授	7D213	yohei@slis	知識情報システム概説 自然言語解析基礎 情報検索システム	4-2担任
16	たかく まさお 高久 雅生	Takaku Masao	准教授	7D208	masao@slis	知識情報システム概説 知識資源組織化論 テクニカルコミュニケーション デジタルドキュメント アカデミックスキルズ	2-3担任
17	たけだ まさき 武田 将季	Takeda Masaki	助教	7D314	masakita@slis	情報リテラシー(講義) 知識情報演習I-1,-2 PBL型図書館サービスプログラム開発	
18	たから こうや 高良 幸哉	Takara Koya	助教	7D508	takara@slis	情報社会と法制度 情報法 ファーストイヤーセミナー 学問への誘い アカデミックスキルズ	1-2担任
19	つじ けいた 辻 慶太	Tsuji Keita	准教授	7D512	keita@slis	情報探索論 知識形成論	
20	てらち みなこ 寺地 美奈子	Terachi Minako	助教	7D307	minakota@slis	メディア社会学	
21	てるやま じゅんこ 照山 純子	Teruyama Junko	准教授	7D305	teruyama@slis	質的調査法 知識コミュニケーション アカデミックスキルズ	2-4担任
22	ときい まき 時井 真紀	Tokii Maki	講師	7D203	tmaki@slis	プログラミング入門A, B 情報デザインとインタフェース	4-5担任
23	としもり あつし 歳森 敦	Toshimori Atsushi	教授	7B312	tosimori@slis	統計	副学長 協力教員
24	どんかい さおり 呑海 沙織	Donkai Saori	教授	7D403	donkai@slis		副学長 協力教員
25	ながい まさかつ 永井 正勝	Nagai Masakatsu	教授	7D209	mnagai@slis	博物館情報学	
26	にしかわ かい 西川 開	Nishikawa Kai	助教	7D313	knishikawa@slis	情報リテラシー(演習) 知識情報演習III-2 学術情報基盤論	

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
27	はら あつゆき 原 淳之	Hara Atsuyuki	助教	7D406	ahara@slis	知識情報演習II-1,-2 コレクションとアクセス 国際インターンシップ	4-3担任
28	バーレーンシエフ エドワルド	Baryshev, Eduard	准教授	7D415	baryshev@slis	専門英語B-3 専門英語C-2 アーカイブズ基礎 アーカイブズ資源 アーカイブズ管理 国際インターンシップ	
29	まえしろ てつや 真栄城 哲也	Maeshiro Tetsuya	教授	7D409	maeshiro@slis	システム思考 生命情報学	
30	まつなが りゅうせい 松永 瑠成	Matsunaga Ryusei	特任助教	7D503	matsunaga.ryusei@slis	テキスト解釈-3 日本図書と文字メディア	
31	まつばやし まみこ 松林 麻美子	Matsubayashi Mamiko	講師	7D215	mamiko@slis	情報行動論 学術メディア論	
32	まつばら まさき 松原 正樹	Matsubara Masaki	准教授	7D516	masaki@slis	知識発見基礎論 身体知	4-4担任
33	まつむら あつし 松村 敦	Matsumura Atsushi	助教	7D212	matsumur@slis	プログラミング入門A, B 情報サービスシステム PBL型図書館サービスプログラム開発	3-4担任
34	むらい まいこ 村井 麻衣子	Murai Maiko	准教授	7D506	myco@slis	知的財産概論 知的財産権論A インターンシップ	3-2担任
35	むらた こうじ 村田 光司	Murata Koji	助教	7D404	kmurata@slis	テキスト解釈-2 アーカイブズ基礎 アーカイブズ資源 アーカイブズ管理	
36	やまもと しゅうへい 山本 修平	Yamamoto Shuhei	准教授	7D506	syamamoto@slis	機械学習	
37	ゆ はいたお 于 海涛	Yu, Haitao	准教授	7D316	yuhaitao@slis	(サバディカル)	
38	よう しょうゆ 叶 少瑜	Ye, Shaoyu	准教授	7D206	shaoyu@slis	量的調査法 ソーシャルメディア分析	
39	よこやま みきこ 横山 幹子	Yokoyama Mikiko	准教授	7D405	mikiko@slis	哲学 知識論	4-1担任*
40	よしかな ふゆき 芳鐘 冬樹	Yoshikane Fuyuki	教授	7D414	fuyuki@slis	知識情報演習II-1 専門英語B-1 情報評価 インターンシップ	3-1担任*
41	よしだ ゆうこ 吉田 右子	Yoshida Yuko	教授	7D410	yyoshida@slis	図書館概論 生涯学習と図書館 インターンシップ ファーストイヤーセミナー 学問への誘い アカデミックスキルズ	1-1担任*
42	い すんひ 李 昇姫	Lee, Seung Hee	准教授	総合研究棟 D501	lee.seunghee.gn@u	知的探求の世界I-4	協力教員
43	おちあい よういち 落合 陽一	Ochiai Yoichi	准教授	7D515	wizard@slis	メディアアート コンテンツ入門	協力教員
44	もりしま あつゆき 森嶋 厚行	Morishima Atsuyuki	教授	系長室	mori@slis		系長 協力教員
45	もりつぐ しゅういち 森継 修一	Moritsugu Shuichi	教授	7D214	moritsug@slis	情報数学B 数式処理システム論	協力教員
46	わかばやし けい 若林 啓	Wakabayashi Kei	准教授	7D207	kwakaba@slis	知的探求の世界I-1	協力教員
47	おもて かずまさ 面 和成	Omote Kazumasa	教授	総合研究棟 B-803	omote@risk	ビジネスシステムデザイン基礎I, II ビジネスシステムデザイン実践I, II	
48	かわぐち いっかく 川口 一画	Kawaguchi Ikkaku	助教	3F804	kawaguchi@cs	ビジネスシステムデザイン基礎I, II ビジネスシステムデザイン実践I, II	
49	かわしま ひろし 川島 宏	Kawashima Hiroshi	非常勤講師	—	学群教務に照会	図書館建築論	
50	たかはし しん 高橋 伸	Takahashi Shin	准教授	3F906	shin@cs	ヒューマンインタフェース	
51	ながもり みつはる 永森 光晴	Nagamori Mitsuharu	講師	7D412	nagamori@slis	マークアップ言語	
52	はせべ いこ 長谷部 郁子	Hasebe Ikuko	非常勤講師	—	学群教務に照会	専門英語A1, A2	
53	ひらゆ あつし 平湯 あつし	Hirayu Atsushi	非常勤講師	—	学群教務に照会	テクニカルコミュニケーション	
54	ふるかわ ひろし 古川 宏	Furukawa Hiroshi	准教授	総合研究棟 B-801	furukawa.hiroshi.gu@u	ヒューマンインタフェース	
55	ポーリー, マーティン Pauly, Martin Edmund	Pauly, Martin Edmund	非常勤講師	—	学群教務に照会	専門英語A1, A2	
56	Li Jingjing	Li, Jingjing	助教	7D502	jjli@slis	メディアアート	

メールアドレスのドメイン部は「.tsukuba.ac.jp」を省略。例えば「gakumu-k@slis」は「gakumu-k@slis.tsukuba.ac.jp」が正しいメールアドレスです。

非常勤講師へは原則として授業の際に直接コンタクトをとるか、学群教務を経由して連絡してください。